取扱説明書

- はじめに
- 準　備
- 基本操作
- ラジオを聞く
- ディスクを再生する
- テープを再生する
- 他の機器の音声を聞く
- MDを再生する
- 録音する
- MDを編集する
- 便利な機能
- 知っておいてほしいこと

マイクロコンポーネントMDシステム

型名 UX-QD7-B/-S

デモ表示について

本機にはデモ表示機能が用意されています。

電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に働きます。

解除するときは、本体の COLOR/DEMO を押します。

詳しくは、「デモ表示機能について」(☞ 14ページ)をご覧ください。

省エネ設計

省エネ回路により本体部は、
電源待機時　消費電力 0.9 W

AV COMPU LINK
Digital Direct Progressive

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に4～6ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1220-001C

もくじ

もっともよく使う機能に よく使います！ のマークをつけてあります。これだけでひととおり使いこなせます。

はじめに ページ

安全上のご注意 4
付属品 6

準備 ページ

各部の説明ページ 7
本体前面 7
リモコンについて 8
リモコンに乾電池を入れる 8
リモコンでテレビを操作する 9
接　続 10
アンテナを接続する 10
スピーカーを接続する 11
他の機器を接続する 12
テレビを接続する 13
よりきれいな映像を楽しみたいときは 13
電源プラグを接続する 14

基本操作 ページ

基本操作 15
時計を合わせる 15
電源を入れる/切る ..... よく使います！ 16
音量を調節する ..... よく使います！ 16
一時的に消音する 16
重低音を強調する 16
音質を調節する 16
表示窓とディスクトレイのカラーパターンを変更する 17
表示窓とディスクトレイの明るさを変更する（ディマー） 17

ラジオを聞く ページ

ラジオを聞く ..... よく使います！ 18
放送局を選ぶ 18
放送局を記憶させる（プリセット） 18
放送局を呼び出す 19
表示窓の表示を変える 19

ディスクを再生する ページ

DVDの基本操作 20
再生する ..... よく使います！ 20
表示窓の表示を変える 22
約10秒前から再生し直す［ちょっと見バック］ 22
停止する ..... よく使います！ 22
あとで続きを再生する［RESUME］ 22
一時停止する 23
画像を1コマずつ送る 23
早送り/早戻し ..... よく使います！ 23
スローモーション再生する［スロー再生］ 23
頭出しする ..... よく使います！ 23
数字ボタンで頭出しをする（ダイレクト再生） 24
メニューから選ぶ 24
DVDプレイヤーの便利な機能 25
音声を切り換える ..... よく使います！ 25
字幕を切り換える 26
アングル（角度）を切り換える 26
画像を拡大する[ズーム] 26
画質を調節する[VFP] 27
サラウンド感を出す[3Dフォニック] 27
再生レベルを調節する[DVDレベル] 28
よりきれいな映像を楽しむ[プログレッシブ] 28
ボーナスグループを再生する 29
静止画を見る[B.S.P.] 29
プログラム再生 30
ランダム再生 31
リピート再生 32
ステータスバーとメニューバー 33
ステータスバーとメニューバーを使う 33
指定した範囲をくり返し再生する[A-Bリピート] 34
時間を指定する[タイムサーチ] 34
MP3/WMA/JPEGディスクを再生する 35
再生する 35
リピート（くり返し）再生する 36
各種設定 37
基本操作 37
言語設定画面 37
映像設定画面 37
音声設定画面 38
その他設定画面 38
カントリー／エリアコード一覧 39
言語コード一覧 40

テープを再生する ページ

テープを再生する ..... よく使います！ 40
表示窓の表示を変える 41

他の機器の音声を聞く ページ

他の機器の音声を聞く 42
他の機器の音声入力レベルを調節する 42
表示窓の表示を変える 42

MDを再生する ページ

MDを再生する 43
MDを聞く ..... よく使います！ 43
表示窓の表示を変える 44
聞きたい曲を指定する（ダイレクト選曲） 44
MDのグループ再生 44
プログラム再生 45
MDのランダム再生 45
MDのリピート再生 46
タイトルサーチ 46

録音する　ページ

MDに録音する .... よく使います！ **48**
ディスクをまるごと1枚録音する 48
録音を途中でやめる 49
ディスクの中の1曲だけを録音する 49
ディスクの途中の曲から最後の曲まで録音する .. 49
ディスクをプログラム録音する 49
MDへの録音について（知っておいてほしいこと）.. 49
ラジオやテープ、他の機器の音声の録音 .. 50
録音をやめる 50
テープに録音する .... よく使います！ **51**
録音を途中でやめる 52
ディスクやMDの中の1曲だけを録音する .. 52
ディスクやMDの途中の曲から最後の曲まで録音する 52
ディスクやMDをプログラム録音する ... 52
曲間にあき（ブランク）を作らずに録音する .. 52
録音済みのテープの音を消す 52

MDを編集する　ページ

編集の前に/タイトルをつける **53**
編集の前に知っておいてほしいこと 53
タイトルをつける／編集する 53
タイトル入力のしかた 54
タイトル入力に使える文字 54
曲を編集する **55**
曲を2つに分ける（DIVIDE）................. 55
曲をつなげる（JOIN）........................... 56
曲を移動する（MOVE）......................... 56
曲を削除する（ERASE）　よく使います！ 57
全曲を削除する(ALL ERASE)　よく使います！ 57
グループ単位で編集する **58**
グループをつくる(FORM GR) 58
グループに曲を追加する(ENTRY GR) .. 59
グループを2つに分ける(DIVIDE GR) .. 59
グループをつなげる(JOIN GR) 60
グループを移動する(MOVE GR) 60
グループを解除する（UNGROUP/UNGR ALL）.. 61
グループを削除する(ERASE GR) 62

便利な機能　ページ

タイマーを使う **63**
おやすみタイマー 63
録音タイマー 63
再生タイマー 65
オートスタンバイ **67**
チャイルドロック **67**
AVコンピュリンクの活用 **68**
接続と設定をする 68
操作方法 68

知っておいてほしいこと　ページ

使用上のご注意 **69**
本機の置き場所について 69
露、水滴がついたら 69
本体の掃除 69
ステレオを聞くときのエチケット 69
再生できるディスク 70
再生できないディスク 70
DVDの構成 70
MP3/WMAディスク･JPEGディスクについて 70
マルチチャンネル音声について 71
テレビ方式について 71
MDの制約について **72**
SCMS (Serial Copy Management System) .. 72
ディスク、MD、テープの取り扱いについて .. **73**
MD/ディスクのメッセージ **74**
故障かな?と思う前に **75**
保証とアフターサービス **76**
ビクターサービス窓口案内 **77**
主な仕様 **78**
索　引 **79**

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。 Dolby、ドルビー、MLP Lossless及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はデジタル･シアター･システムズ社からの実施権に基づき製造されています。
  dts、DTSおよびDTS 2.0+DIGITAL OUTは、デジタル･シアター･システムズ社の商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオのロゴは商標です。

本書の見かた

- 主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- どの種類のディスクで操作できるのかを、以下のマークでお知らせしています。

DVD ビデオ　DVD オーディオ　ビデオ CD　SVCD　オーディオ CD　MP3 WMA　JPEG

- 本書内のイラストやテレビ画面は、説明のため簡略化や誇張をしているものがあります。
- “SVCD”は“スーパービデオCD”の略です。

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

● **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止　水場での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

電源プラグを抜く

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

● 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
● 内部に水や異物が入ってしまったとき
● 落としたり、破損したとき
● 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）
すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解禁止

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

水場での使用禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。
● 電源コードを加工しない
● 電源コードを無理に曲げない
● 電源コードをねじらない
● 電源コードを引っ張らない
● 電源コードを熱器具に近づけない
● 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

⚠警告

交流100V(ボルト)以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に接続したテレビやアンプなどの音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

手を挟まれないよう注意

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

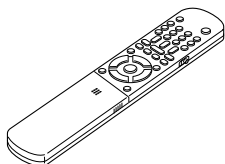
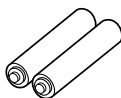
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（−）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（−）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

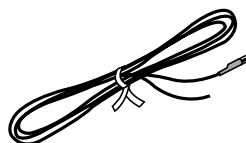
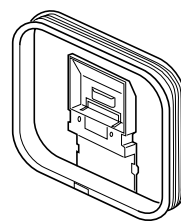
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。
万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

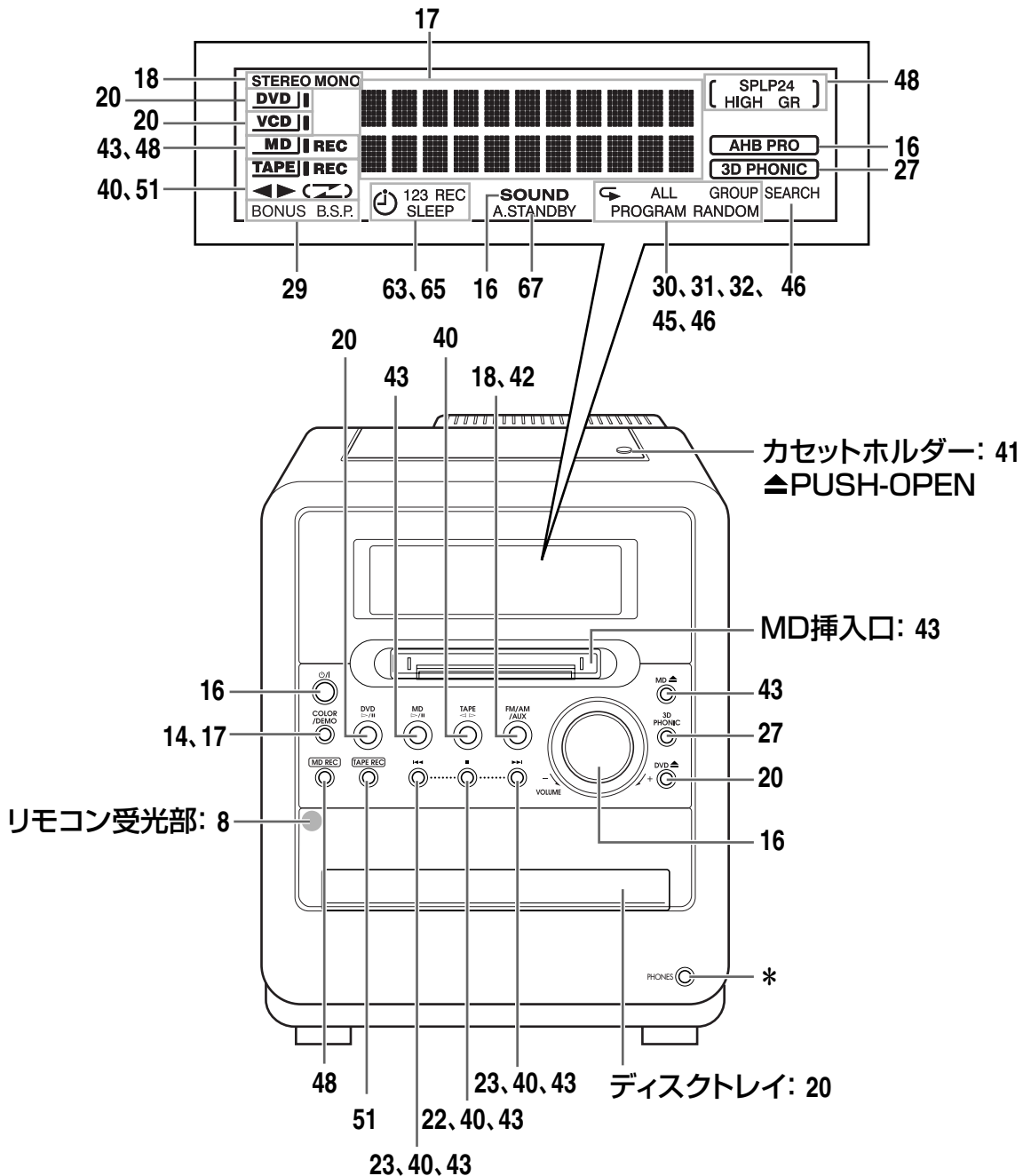
ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

付属品

リモコン（1個）
（RM-SUXQD7-S）

単3形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

FM簡易型アンテナ
（1本）

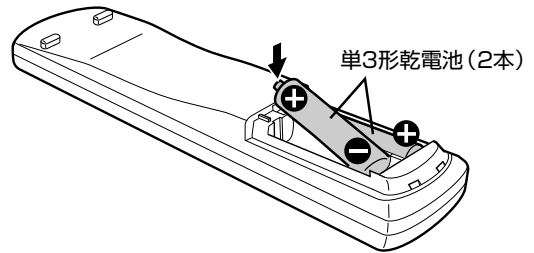
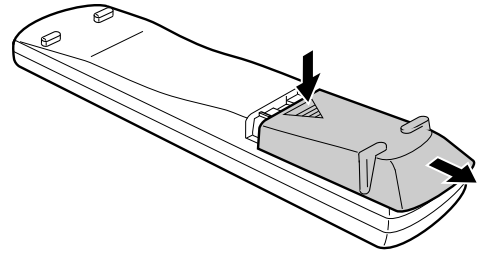
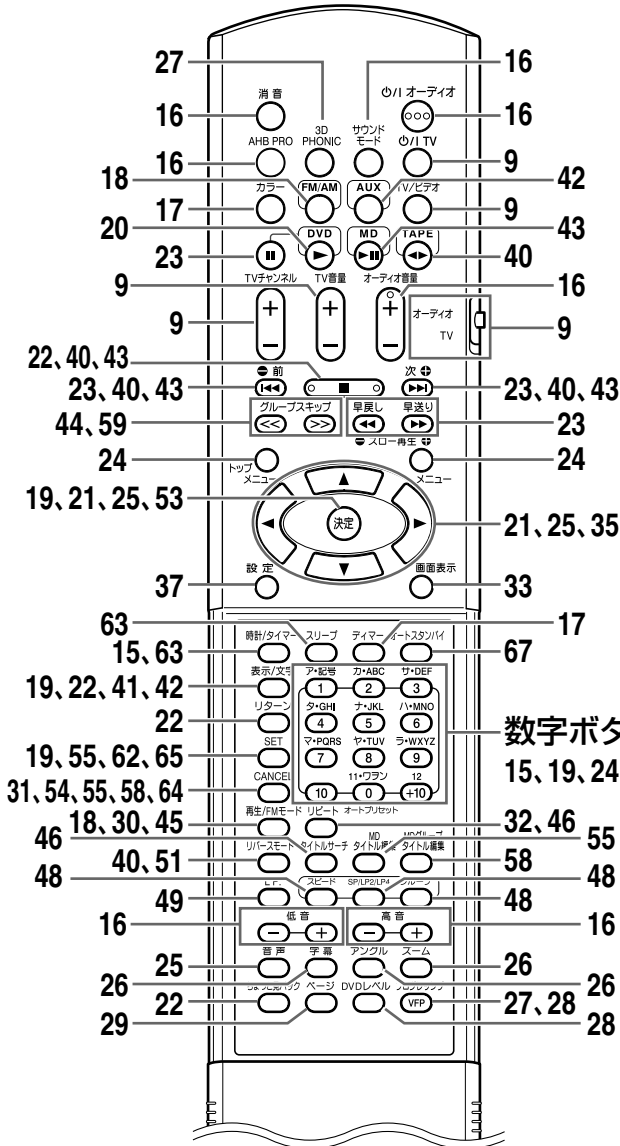
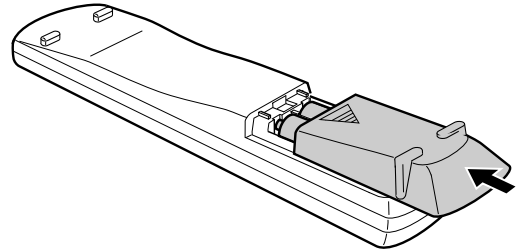
AMループアンテナ
（1個）

ビデオコード（1本）

各部の説明ページ 数字は説明しているページ番号です。

本体前面

＊ステレオミニプラグ付きのヘッドホン（市販品）を接続します。接続するとスピーカーから音が出なくなります。

リモコンについて 数字は説明しているページ番号です。

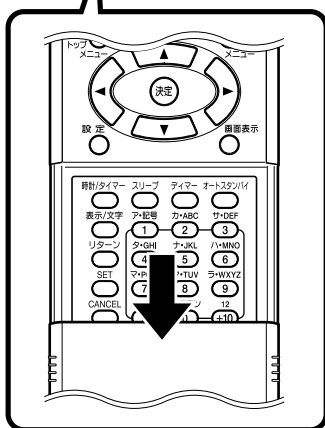
数字ボタン：15、19、24、54

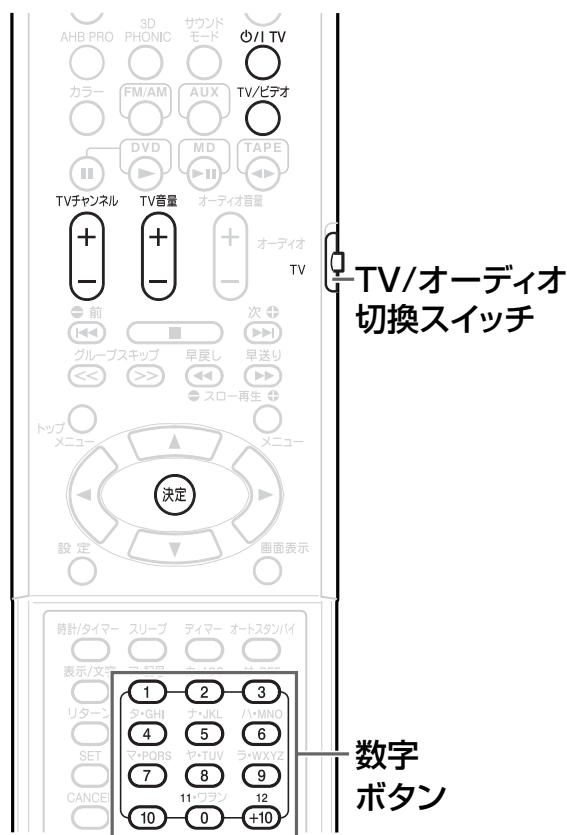
フタの開けかた

リモコンに乾電池を入れる

リモコン内部の極性(⊕/⊖)表示に合わせて正しく入れてください。

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意(☞6ページ)」をお読みの上、正しく取り扱ってください。

リモコンの操作

- リモコンを使うときは、本体正面に向けて操作してください。
- 操作が可能な距離は本体のリモコン受光部から約5m以内です。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

このページは、本機のリモコンでテレビも操作したい場合にお読みください。

リモコンでテレビを操作する

テレビのメーカー(メーカーコード)を設定する

1 TV/オーディオ切換スイッチをTV側にする

2 ⏻/I TV を押し続ける

お知らせ

⏻/I TV は、手順5が終わるまで押したままにしてください。

3 決定を押して離す

4 数字ボタン(1〜9、0)を押す

(網掛け): お買い上げ時の設定

ビクター	01、02、03
アイワ	28、29
NEC	15
コルティナ	31、32、33、34
サンヨー	04、05、06
シャープ	07、08
ソニー	11、12、13
東芝	14
パイオニア	16
日立	17、18
フィリップス	30
富士通ゼネラル	09、10
フナイ	19、20、21、22
松下	23、24、25、26
三菱	27

例: 08:0→8
12:1→2
20:2→0 の順に押します。

2つ以上の番号(メーカーコード)があるメーカーの場合、順番に試してみて正しく動作する番号を選んでください。

お知らせ

メーカーコードは変更される場合があり、上記のメーカー製テレビでも操作できない場合があります。

5 ⏻/I TV を離す

テレビを操作する

リモコンをテレビに向けて操作します。

ボタン	操作
⏻/I TV	電源を「入」/「切」する
TVチャンネル +/−	チャンネルを変える
TV音量 +/−	音量を調節する
1〜10/11・ワヲン 0/12 +10 ＋ オーディオ/TV スイッチ *1	チャンネル(1〜12)を選ぶ
TV/ビデオ	テレビとビデオ入力を切り換える

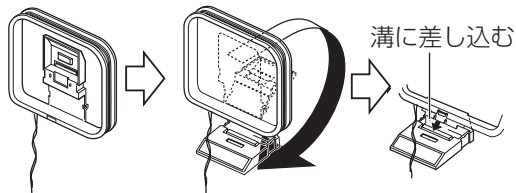
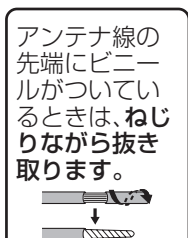
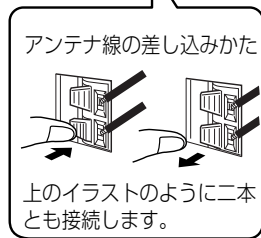
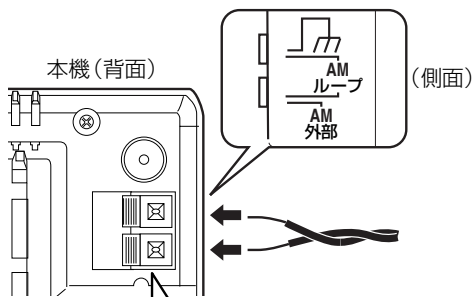
*1 TV/オーディオ切換スイッチを、前もってTV側に切り換えておいてください。

お知らせ

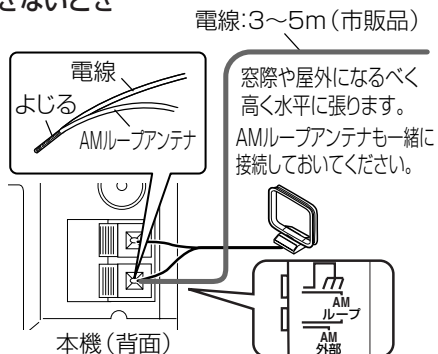
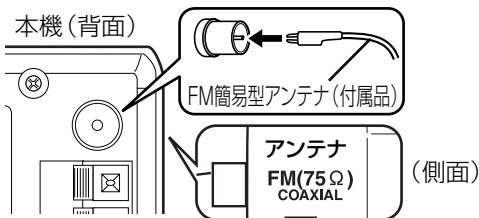
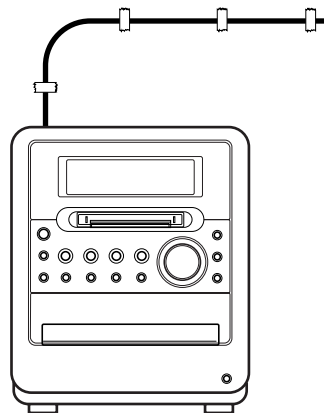
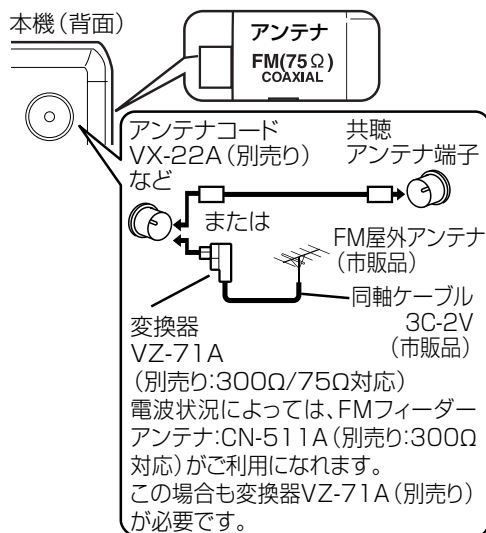
リモコンの電池を交換したときは、メーカー設定をやり直してください。

アンテナを接続する

AMアンテナを接続する

1 AMループアンテナ(付属品)を組み立てます。

2 アンテナ線を接続します。

3 接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。AMループアンテナは、本体からできるだけ離して置いてください。

- AMループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

■付属のAMループアンテナではうまく受信できないとき

FMアンテナを接続する

最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

■付属のFM簡易型アンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよび変換器の取扱説明書を参照してください。

アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください(「ラジオを聞く」☞18ページ)。

スピーカーを接続する

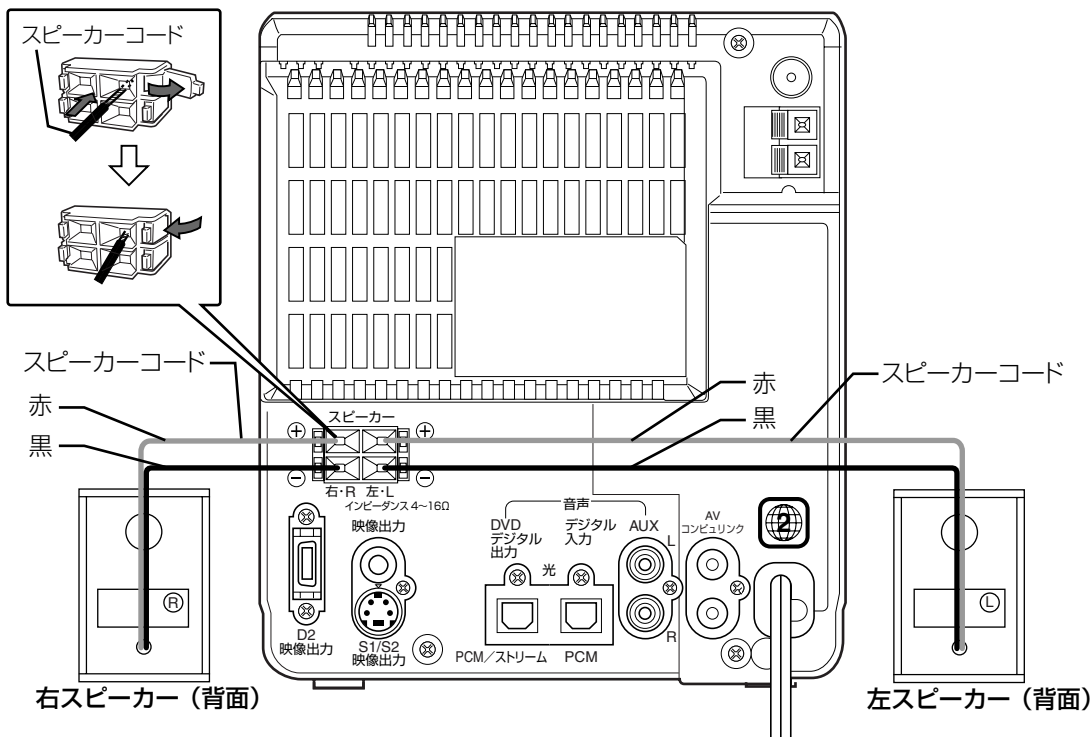
接続後、スピーカーコードを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

スピーカーコード

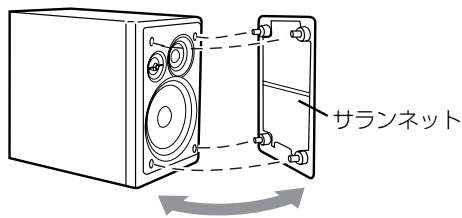
スピーカーコード
赤
黒

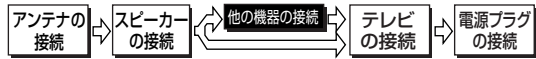
赤
黒
スピーカーコード

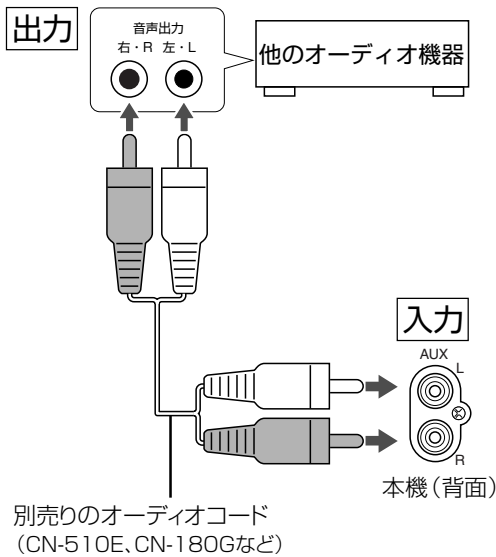
スピーカー
右・R　左・L
インピーダンス 4〜16Ω
映像出力
音声
DVD デジタル出力
デジタル入力
AUX
光
L
R
AV コンピュリンク
D2 映像出力
S1/S2 映像出力
PCM／ストリーム　PCM

右スピーカー（背面）　　左スピーカー（背面）

ご注意

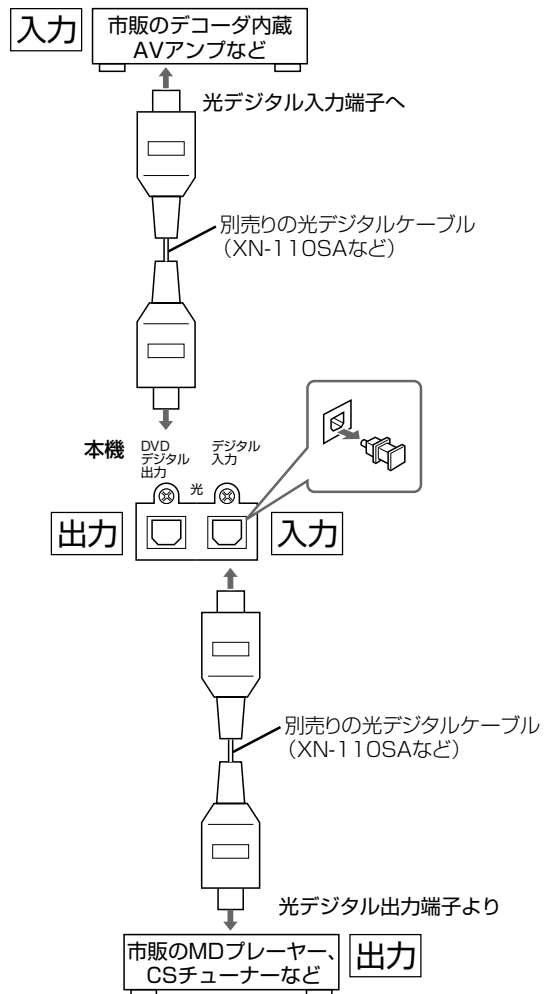
- スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。
- 他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。
- 本機のスピーカーは防磁設計(JEITA仕様)になっておりますが、設置方法によってはテレビに色ムラを生ずることがあります。
  次の点にご注意ください。
  1. 必ずテレビの主電源スイッチを「切」にしてから設置してください。また、テレビの主電源スイッチは、切ってから30分程度待ってから「入」にしてください。
  2. テレビの種類によって万一、色ムラが生じたときはテレビとスピーカーを10cm以上離してください。

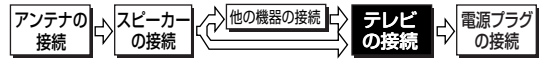
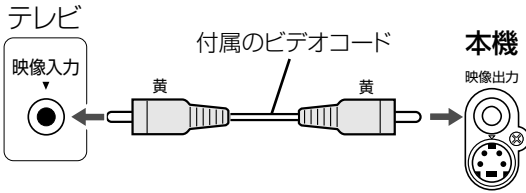
サランネットは取り外すことができます。

お知らせ

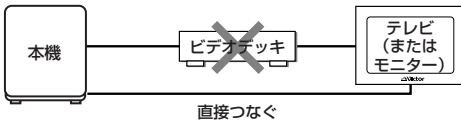
- スピーカーコードの接続を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれます。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、4Ω〜16Ωです。
- 本機の内部には、発生した熱を放出するための冷却ファンがあります。自動で回ったり、止まったりします。十分な冷却効果を得るために、両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、1cm以上間隔をあけてください。

他の機器を接続する

この項目は、本機に他のオーディオ機器を接続して使う場合にお読みください。

ご注意

- 接続するときは、本機だけでなく、接続する機器も必ず電源を「切」にしてください。

デジタル機器と接続する

ご注意

- 出力される信号の詳細については38ページをご覧ください。
- ドルビーデジタルデコーダーの機能を持った機器と接続した場合、本機のデジタル音声出力からの音声に対して、本機の「音声設定画面」（☞38ページ）の[Dレンジコントロール]の設定は無効となります。
- デジタル入力端子はPCM音声に対応しています。BSデジタル放送などのAAC音声には対応していません。

テレビを接続する

ご注意

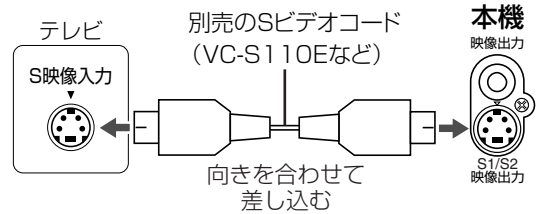
- 本機とテレビ(またはモニター)は、ビデオデッキなどを経由せず、直接つないでください。再生中に画像が乱れることがあります。(コピープロテクションシステムによるもので、故障ではありません)

また本機とビデオデッキ内蔵テレビ(テレビデオ)をつないだときも、再生中に画像が乱れることがあります。

お知らせ

- お使いのテレビにあわせて、TVタイプの設定を行ってください。(☞37ページ)

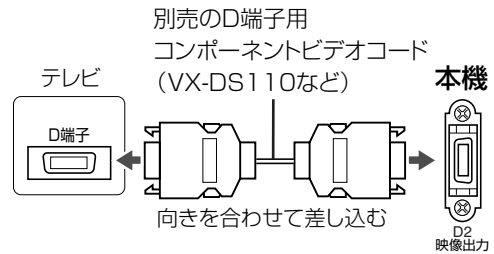
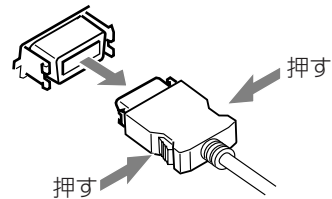
よりきれいな映像を楽しみたいときは

付属のビデオコードのかわりに以下のコードを使うと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

Sビデオコードで接続する

お知らせ

- 本機のS映像出力端子は、S1およびS2映像信号に対応しています。S映像信号にフルモード(縦長の映像)を自動判別するための識別信号を合わせた信号です。接続したテレビがS1またはS2映像信号対応機種のとき、この信号を検知すると自動的に画面サイズを変更します。

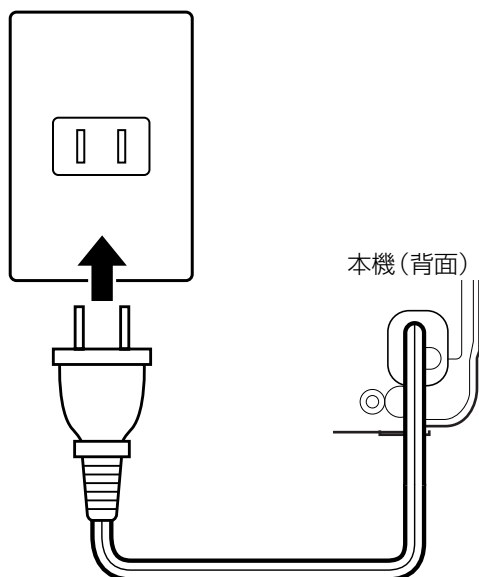
D端子用ビデオコードで接続する

Sビデオコードよりも、さらにきれいな映像をお楽しみいただけます。

■ **D端子コネクターの外しかた**

ご注意

Sビデオコード、D端子用ビデオコードはどちらかを使用してください。両方を使用すると、映像が正しく再生されないことがあります。

お知らせ

- 本機のD映像端子はD2信号まで対応します。
- 本機は、D1～D4映像入力を持つテレビと接続できます。
- プログレッシブモード(☞28ページ)で映像をお楽しみいただくためには、テレビがD2映像入力以上に対応している必要があります。

電源プラグを接続する

• 電源プラグは、すべての接続が終わってから差し込んでください。

デモ表示機能について

電源プラグを家庭用コンセントに接続すると、表示窓に「DEMO START!」と表示され、デモ表示が始まります。
このときは、本体の COLOR/DEMO を押すと「DEMO OFF」と表示され、デモ表示が解除されます。
また、電源を「入」にするとデモ表示は自動で解除されます。

デモ表示を再開するには
電源「切」のとき、本体の COLOR/DEMO を押します。

デモ表示を出ないようにするには
電源「切」のとき、本体の COLOR/DEMO を「DEMO CLEAR」が表示されるまで押し続けます。
電源プラグを抜き差ししてもデモ表示は行われなくなります。
元に戻すときは、COLOR/DEMO を「DEMO START!」が表示されるまで押し続けます。

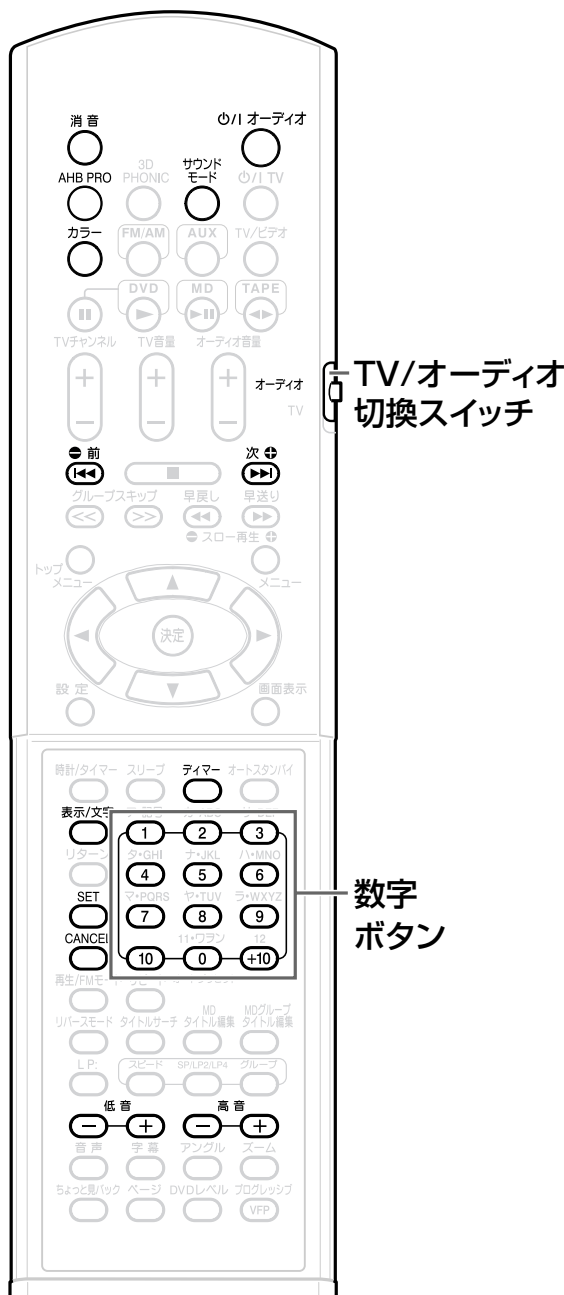
ご注意

- 数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

時計を合わせる

電源が「入/切」どちらの状態でも操作できます。

例：午前10時10分に合わせるとき

1 時計/タイマー を押す

2 「時」を合わせる

前 戻す　次 進める

- 押し続けると連続して変わります。
- 数字ボタンも使えます。
  下の「数字ボタンの使い方」をご覧ください。

数字ボタンの使い方

TV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてから操作してください。

例：　3：3
13：+10 → 3
20：+10 → 10
23：+10 → +10 → 3

10:00

3 SET を押す

10:00

- CANCEL を押すと手順2に戻れます。

4 手順2、3と同様の操作で「分」を合わせる

10:10

時計を合わせ直すには

時計/タイマー を4回押して時計を表示させ、手順2から操作します。

使用中に時計を表示させるには

表示/文字 をくり返し押します。

お知らせ

- 本機の時計は24時間表示です。
- 月に1分程度のズレを生じます。
- 電源コードを抜いたり停電があったときは、時計を合わせ直してください。

電源を入れる/切る よく使います！

⏻/I オーディオ ◯（または本体の⏻/I ◯）を押す

- 電源が「切」の状態で、次のいずれかを押したときも電源が入ります。
  リモコン：DVD ▶、MD ▶II、TAPE ◀▶、FM/AM、AUX
  本体：DVD、MD、TAPE、FM/AM /AUX、DVD ⏏、MD ⏏
  ディスクやテープが入っているときは、再生が始まります。

音量を調節する よく使います！

オーディオ音量 ＋／－ を押す

- 本体のVOLUMEつまみを回しても調節できます。

お知らせ
- VOLUME 0～40の範囲で調節できます。

一時的に消音する

消音 ◯を押す

- 「FADE MUTING（フェード ミューティング）」と表示され、音量が「0」になります。
- もう一度押すと元の音量に戻ります。

重低音を強調する

AHB PRO ◯ を押す

- 押すごとにON（オン）/OFF（オフ）が切り換わります。
- 「ON」のときは表示窓に AHB PRO が表示されます。
- AHB PROは、Active（アクティブ） Hyper（ハイパー） Bass（バス） PRO（プロ）の略です。

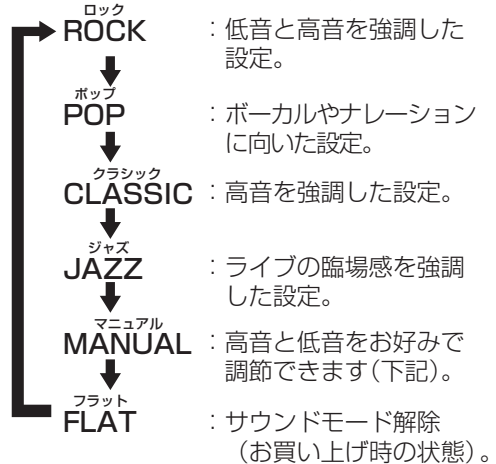
音質を調節する

サウンドモードを選ぶ

サウンドモード ◯を押す

- 押すごとに、次のように切り換わります。

モード	内容
ROCK（ロック）	：低音と高音を強調した設定。
POP（ポップ）	：ボーカルやナレーションに向いた設定。
CLASSIC（クラシック）	：高音を強調した設定。
JAZZ（ジャズ）	：ライブの臨場感を強調した設定。
MANUAL（マニュアル）	：高音と低音をお好みで調節できます（下記）。
FLAT（フラット）	：サウンドモード解除（お買い上げ時の状態）。

（ROCK → POP → CLASSIC → JAZZ → MANUAL → FLAT → ROCK）

- サウンドモードが有効（「FLAT」以外）になっているときは、表示窓にSOUNDが表示されます。

お知らせ
- 録音される音には影響しません。

お好みの音質に調節する

1 サウンドモード ◯を繰り返し押して「MANUAL」を表示させる

2 低音を調節する ➡ 低音 －＋を押す

高音を調節する ➡ 高音 －＋を押す

- －5～＋5の範囲で調節できます。
- 数秒後に自動で元のソース（音源）表示に戻ります。

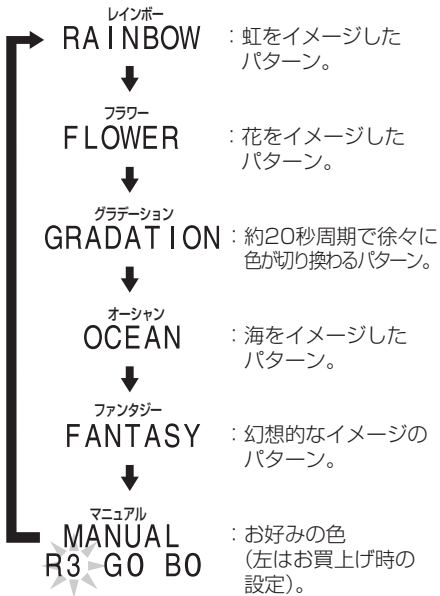
お知らせ
- サウンドモードが「MANUAL」以外のときは、「NO（ノー） OPERATE（オペレート）」と表示され、高音・低音を調節できません。

リモコンのボタンの位置は
15ページをご覧ください。

表示窓とディスクトレイのカラーパターンを変更する

カラー ◯（または本体の COLOR/DEMO ◎）を押す

• 押すごとに次のように切り換わります。

RAINBOW（レインボー）：虹をイメージしたパターン。
↓
FLOWER（フラワー）：花をイメージしたパターン。
↓
GRADATION（グラデーション）：約20秒周期で徐々に色が切り換わるパターン。
↓
OCEAN（オーシャン）：海をイメージしたパターン。
↓
FANTASY（ファンタジー）：幻想的なイメージのパターン。
↓
MANUAL（マニュアル） R3 GO BO：お好みの色（左はお買上げ時の設定）。

表示窓とディスクトレイをお好みの色にする

1 カラー ◯ **をくり返し押して「MANUAL」を表示させる**

2 ⊖前 ⏮ 次⊕ ⏭ **を押して、変更したい色を選ぶ**

• 選んだ色の数字が点滅します。

3 オーディオ音量 ＋/－ **を押して色を調節する**

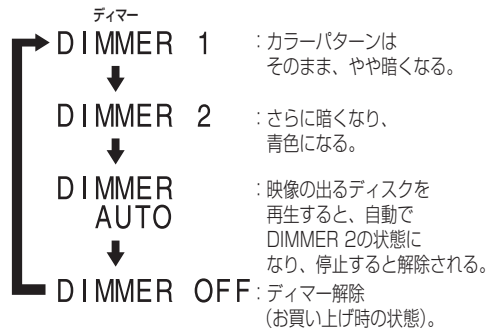
• 本体のVOLUMEつまみを回しても調節できます。
• 各色の数字は0〜3の範囲で調節できます。
赤・緑・青の3つを同時に「0」にすることはできません。

お知らせ
• 色を調節したあと、約8秒でソース（音源）の表示に戻ります。
• 表示窓とディスクトレイを別々の色にすることはできません。
• 本体及びリモコンを操作すると表示窓とディスクトレイの色が約2秒間水色になります。
• 録音が停止した時、表示窓とディスクトレイの色が「MANUAL」で設定した色になり、録音が終了したことをお知らせします。
次に操作をすると選ばれていたカラーパターンに戻ります。

基本操作

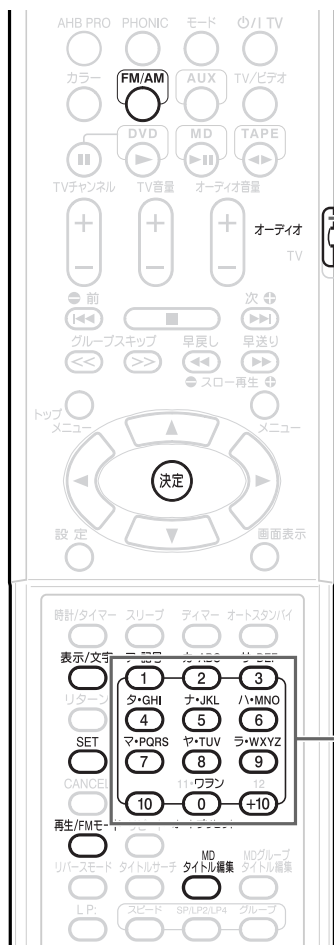
表示窓とディスクトレイの明るさを変更する（ディマー）

ディマー ◯ を押す

• 押すごとに、次のように切り換わります。

お知らせ
• カラーパターンを変更すると（カラー ◯ を押すと）、「DIMMER AUTO」以外のディマーは解除されます。
• 電源を切ったときも、ディマーは解除されます。
• カラーパターンは消すことはできません。

ラジオを聞く よく使います！

FMまたはAMを受信することができます。

ご注意

- 数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

放送局を選ぶ

1 FM/AM をくり返し押して「FM」または「AM」を選ぶ

例：FM放送を受信中の表示

2 前 または 次 をくり返し押して、聞きたい放送局（周波数）を選ぶ

- オート選局（下記）もできます。

オート（自動）選局：
前 または 次 を押し続け、周波数が変わり始めたらボタンを離します。
放送を受信すると自動で止まります。
途中で止めたいときは、前 または 次 を押します。

- FMステレオ放送を受信すると、「STEREO（ステレオ）」表示が点灯します。

お知らせ

- 本機は、テレビ1ch：95.75 MHz、2ch：101.75 MHz、3ch：107.75 MHzの音声を受信することができます。
- FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき、再生/FMモード を押し、音声をモノラルにする（「MONO」が点灯）と、聞きやすくなることがあります。もう一度 再生/FMモード を押すか、別の放送局を受信すると自動的にステレオ受信に戻ります。
- 本機はAMステレオ放送には対応していません。

放送局を記憶させる（プリセット）

FMを最大30局、AMを最大15局まで、それぞれ記憶させることができます。

オート（自動）プリセット

FMとAMそれぞれについて操作してください。

<FMまたはAMを受信中に>

0（オートプリセット） を2秒以上押す

- 受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットできる最大数まで記憶されると、自動で終了します。
- 前に記憶されていた放送局があっても、新しく記憶された放送局が上書きされます。

オートプリセットが終了すると、プリセット番号1に記憶された放送局が受信されます。

お知らせ

- 雑音の多い放送局も記憶されることがあります。このようなときはマニュアルプリセットで選び直してください。

マニュアル(手動)プリセット

放送局を1つずつ記憶させます。

<プリセットしたい放送局を受信中に>

1 TV/オーディオ切換スイッチをオーディオ側にする

2 SET を押す

プリセット番号が約5秒間点滅します。

3 プリセット番号が点滅している間に、数字ボタン(1～10、+10)を押して記憶させたい番号を選ぶ

- 「数字ボタンの使い方」(☞15ページ)をご覧ください。

4 選んだ番号が点滅している間に SET を押す

- 「STORED(ストアード)」と表示され、選んだ放送局が記憶されます。

お知らせ

同じプリセット番号に新しい放送局を記憶させると、前の放送局の記憶は消えます。

放送局を呼び出す

<FMまたはAMを受信中に>

1 TV/オーディオ切換スイッチをオーディオ側にする

2 数字ボタンで、呼び出したい放送局のプリセット番号を選ぶ

- 「数字ボタンの使い方」(☞15ページ)をご覧ください。

放送局名を入力する

プリセット選局で記憶した放送局に、最大8文字の局名をつけることができます。

1 TV/オーディオ切換スイッチをオーディオ側にする

2 MD タイトル編集 を押す

3 表示/文字 と数字ボタン(ア・記号 1 ～ ラ・WXYZ 9、11・ワヲン 0)で局名を入力する

- 入力方法は「タイトル入力のしかた」(☞54ページ)をご覧ください。

4 決定 を押す

- 「STORED」と表示され、入力した局名が登録されます。

お知らせ

- 放送局名を入力したあと、あらためてオートプリセットやマニュアルプリセットを行うと、局名は削除されます。
- オート選局やマニュアル選局で聞いているときは、放送局名を入力できません。

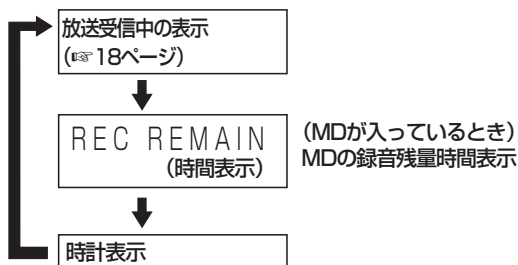
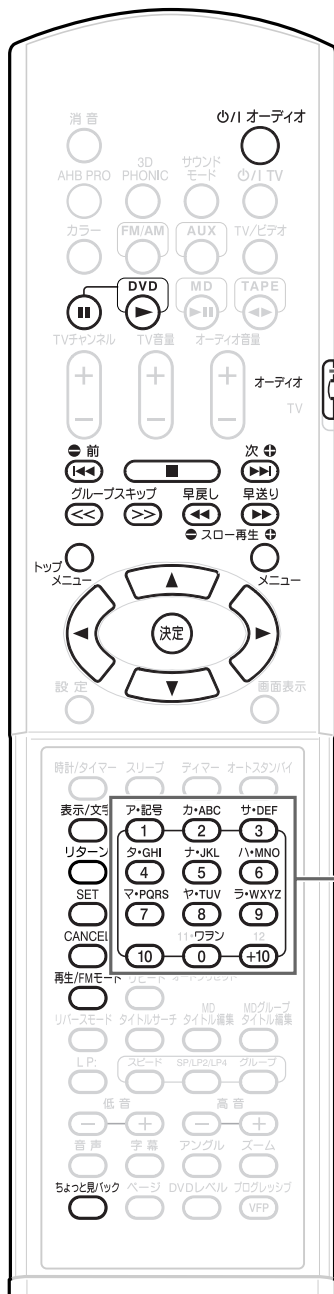
表示窓の表示を変える

表示/文字 を押す

- 押すごとに、次のように切り換わります。

聞くラジオを

DVDの基本操作

ご注意

- 数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

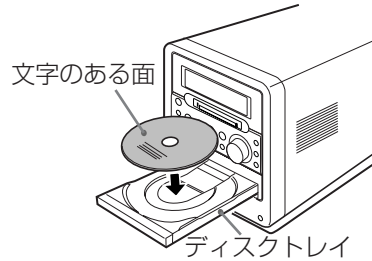
再生する よく使います！

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD

(MP3/WMAとJPEGの再生については、35ページをご覧ください。)

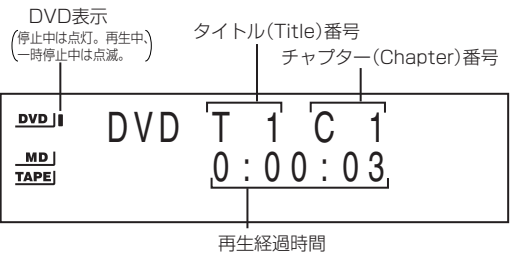
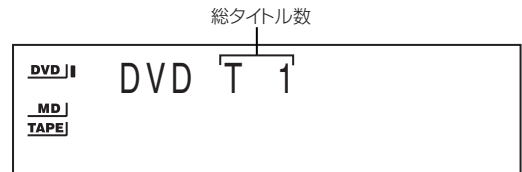
1 本体の DVD⏏ を押す

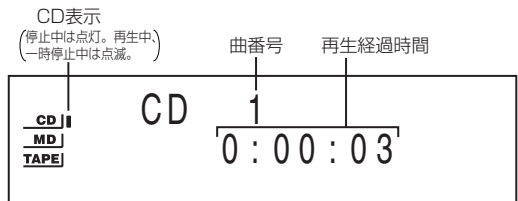
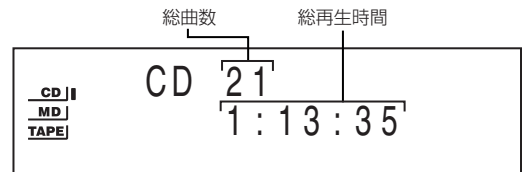
- ディスクトレイが出ます。

2 ディスクをディスクトレイに置く

- 8センチディスクは内側の凹部に置きます。

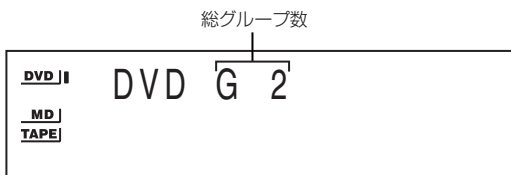
3 DVD ▶ を押す

■ DVDビデオの表示

再生中:

停止中:

■ CDの表示

再生中:

停止中:

■ DVDオーディオの表示

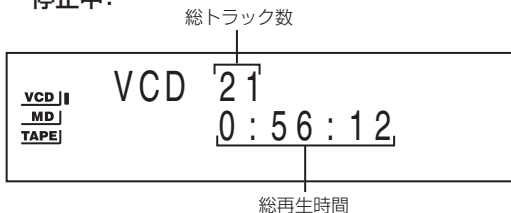
再生中:

停止中:

- 総グループ数が表示されたあと、「G1」と「T1」が表示されます。

■ ビデオCD(VCD)/SVCD(スーパービデオCD)の表示

再生中:

- PBC表示は、PBCがオンのとき表示されます。

停止中:

- 総トラック数が表示されたあと、「1」が表示されます。

お知らせ

- DVDでは、再生開始後にメニュー画面が表示されることがあります。このようなときは、次のリモコンのボタンを使って、希望の項目を選んで再生します。
  - ▲▼◀▶で項目を選び、(決定)を押す
  - 数字ボタンで項目を選ぶ
- ディスク制作者の意図により、ここでの説明と異なる操作方法のものもあります。

テレビに表示されるメッセージ

ソース(音源)がＤＶＤのとき、状況に応じて次のように表示されます。

NOW READING
ディスク読み取り中です。しばらくお待ちください。

リージョン コード エラー!
リージョンコード(番号)が異なるため再生できません。(☞70ページ)

NO DISC
ディスクが入っていません。

OPEN
ディスクトレイを開いています。

CLOSE
ディスクトレイを閉じています。

このディスクは再生できません
再生できないディスクです。

テレビに一時的に表示されるマーク(オンスクリーンガイド)

▶ ：再生(☞ 20ページ)

❚❚ ：一時停止(☞ 23ページ)

◀◀ ▶▶ ：早戻し/早送り(☞ 23ページ)

◀❚ ❚▶ ：スロー再生(逆方向/順方向)(☞ 23ページ)

：複数のアングルあり(☞ 26ページ)

：複数の音声あり(☞ 25ページ)

：複数の字幕あり(☞ 26ページ)

⊘ ：そのディスクでは、行なった操作が禁止されています。

PBC（プレイバックコントロール）

- ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC対応ビデオＣＤに記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。PBCをオフにして再生したいときは、次の操作を行なってください。
  - 停止中に見たいトラック番号を数字ボタンで指定する
  - 停止中に（前）または（次）でトラック番号を指定し、（DVD ►）を押す
- ビデオCDとSVCDをPBC再生中、1つ上の階層に戻るときは（リターン）を押します。

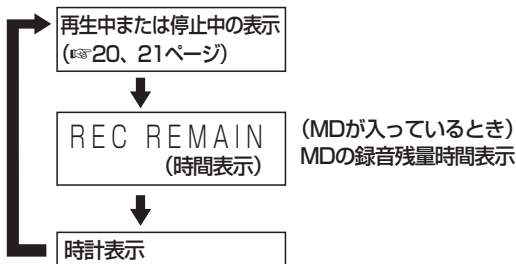
表示窓の表示を変える

（表示/文字）を押す

・押すごとに、次のように切り換わります。

＜再生中（または停止中）に＞

約10秒前から再生し直す [ちょっと見バック]

DVD ビデオ

＜再生中に＞

（ちょっと見バック）を押す

お知らせ
- ディスクによってはこの操作ができないこともあります。
- 一つ前のタイトルに戻ることはできません。

停止する よく使います！

DVD ビデオ　DVD オーディオ　ビデオ CD　SVCD　オーディオ CD　MP3 WMA　JPEG

＜再生中に＞

（■）を押す

あとで続きを再生する [RESUME（リジューム）]

DVD ビデオ　DVD オーディオ　ビデオ CD　SVCD

再生を途中で停止したとき、その場面から再び再生することができます。
これを「リジューム」機能と呼びます。

中断したいとき

＜再生中に＞
次のいずれかを行います。

（■）を1回押す。*
（⏻/I オーディオ）を押して電源を「切」にする。
ラジオなど、他のソース（音源）に切り換える。*

* このあと （⏻/I オーディオ）を押して電源を「切」にしても位置の記憶は残ります。

つづきを再生したいとき

（DVD ►）を押す。

お知らせ
- プログラム再生やランダム再生では機能しません。
- 再生を再開する位置が、停止した位置と少し異なることがあります。
- ディスクのメニューが表示されているときは、リジューム機能が働かないことがあります。
- 停止位置とともに、そのときの音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。
- 記憶した位置は、ディスクトレイを開けると取り消されます。また、再生中に（■）を押すと「ＲＥＳＵＭＥ」と表示されます。このときに（■）を押すと「RESUME」が消えて、記憶が取り消されます。
- **お買い上げ時はリジュームが「オン（リジュームする）」に設定されています。「オフ（リジュームしない）」に設定することもできます（☞38ページ）**

一時停止する

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SVCD オーディオCD MP3 WMA JPEG

<再生中に>

を押す

を押すと、通常の再生に戻ります。
- JPEGディスクのスライドショー再生中は、本体のでは一時停止しません。

画像を1コマずつ送る

DVDビデオ SVCD ビデオCD DVDオーディオ（動画部のみ）

<一時停止中に>

を押す

- 押すごとに、1コマずつ進みます。
- 本体のでは操作できません。

早送り/早戻し よく使います！

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SVCD オーディオCD

次の2つの方法があります。

<再生中に>

早戻し または 早送り を押す

- 押すごとに、スピードが次のように変化します。

×2→×5→×10→×20→×60

- 通常の再生に戻したいときはを押します。

⊖前 または 次⊕ を押し続ける

- ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しします。

お知らせ
- DVDビデオや、SVCD、ビデオCDを早送り/早戻ししているとき、音声は出ません。
- オーディオCDやDVDオーディオを早送り/早戻ししているときは、断続的に音声が出ます。

スローモーション再生する［スロー再生］

DVDビデオ ビデオCD SVCD DVDオーディオ（動画部のみ）

<一時停止中に>

⊖スロー再生 または スロー再生⊕ を押す

- 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

1/32 → 1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

- を押すと一時停止、を押すと通常の再生に戻ります。

お知らせ
- 音声は再生されません。
- 逆方向では動きがなめらかにならない場合があります。
- ビデオCDとSVCD（スーパービデオCD）では、順方向のみスロー再生できます。

頭出しする よく使います！

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SVCD オーディオCD MP3 WMA JPEG

<再生中*に>

⊖前 または 次⊕ を押す

- 押すごとに前後のチャプター/トラック/ファイルの頭に移ります。
- タイトルやグループを選ぶときは グループスキップ を押します。

お知らせ
＊ビデオＣＤとSVCDは、PBCオフで再生中のときのみ操作できます。
- DVDビデオ以外は停止中も操作ができます。
- ディスクによっては操作できないことがあります。

数字ボタンで頭出しをする（ダイレクト再生）

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD　MP3 WMA　JPEG

<再生中に>

1 TV/オーディオ切換スイッチをオーディオ側にする

2 数字ボタン（1～10、+10）を押して、再生したいチャプター/トラック番号を指定する

- 「数字ボタンの使い方」（☞15ページ）をご覧ください。

お知らせ

- ビデオCDとSVCDは停止中またはPBCオフで再生中に操作できます。
- DVDオーディオ、オーディオCD、MP3/WMA、JPEGは停止中も操作できます。
- ディスクによっては操作ができないこともあります。

メニューから選ぶ

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD

<停止中または再生中*に>

1 TV/オーディオ切換スイッチをオーディオ側にする

2 メニュー または トップメニュー を押す

- ディスクのメニュー画面が表示されます。

3 ▲ ▼ ◀ ▶（DVDビデオ、DVDオーディオのみ）、または数字ボタンを押して再生するところを選ぶ

- 「数字ボタンの使い方」（☞15ページ）をご覧ください。
- メニュー画面に複数のページが用意されているときは、前 または 次 を押してページを切り換えます（ビデオCD、SVCDのみ）。

4 決定 を押す

お知らせ

＊ビデオCDとSVCDはPBC OFFのときのみ
- DVDオーディオでは メニュー は使えません。
- メニュー画面が収録されていないディスクでは操作できません。
- ディスクによっては 決定 を押さなくても再生が始まります。

ご注意

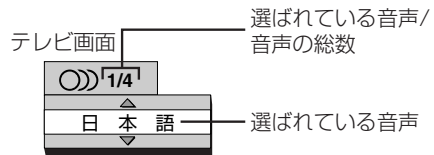
- 数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

音声を切り換える よく使います！

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SVCD

<複数の音声が入ったディスクを再生中に>

1 音声を押す

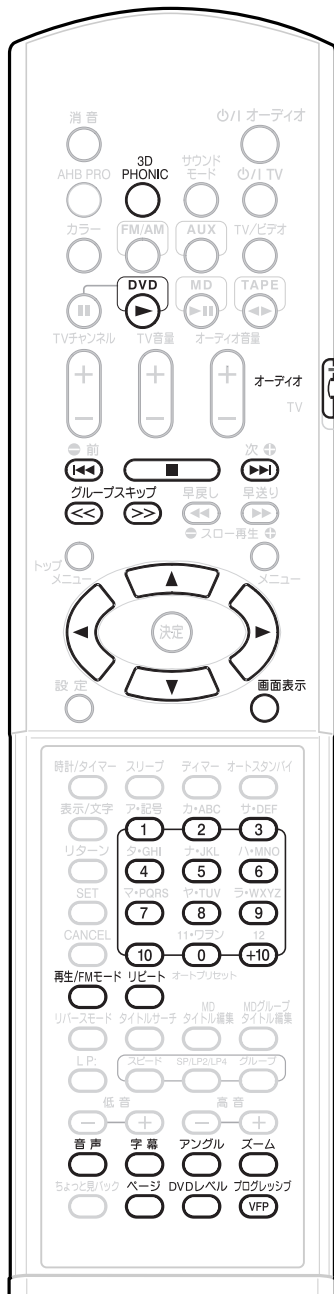
例：

- 音声を押すごとに音声の種類が切り換わります。▲ ▼を押しても切り換わります。

例：DVDビデオのとき

1／3日本語
↕
2／3英語
↕
3／3フランス語

2 そのまま数秒待つか、決定を押す

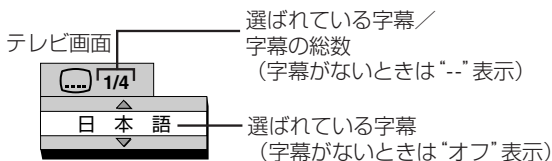
お知らせ

- メニューバー(☞ 33ページ)で操作することもできます。
- "AA"などの言語コードについては、「言語コード一覧」(☞ 40ページ)をご覧ください。
- DVDオーディオで、1/2に2チャンネル音声が、2/2にダウンミックス禁止のマルチチャンネル音声が収録されているときは、1/2のみ選択できます。

字幕を切り換える

DVDビデオ SVCD DVDオーディオ
（動画部のみ）

＜複数の字幕が入ったディスクを再生中に＞

1 字幕 を押す

例：

2 ▲ ▼ を押して字幕の言語を選ぶ

3 そのまま数秒待つか、決定 を押す

お知らせ
- メニューバー（☞ 33ページ）で操作することもできます。
- SVCDの場合、手順1で 字幕 を押すごとに字幕の種類、オン／オフが切り換わります。
- "AA"などの言語コードについては、「言語コード一覧」（☞ 40ページ）をご覧ください。
- ディスクによっては字幕言語の表示方法が異なるものもあります。

字幕を解除するには

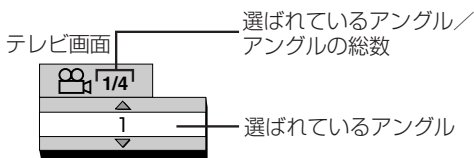
字幕 を押して、「オフ」を選ぶ

アングル（角度）を切り換える

DVDビデオ DVDオーディオ
（動画部のみ）

＜複数のアングルが入った場面を再生中に＞

1 アングル を押す

例：

- アングル を押すごとにアングルが切り換わります。
  ▲ ▼ を押しても切り換わります。

2 そのまま数秒待つか、決定 を押す

お知らせ
- メニューバー（☞33ページ）で操作することもできます。

画像を拡大する[ズーム]

DVDビデオ ビデオCD SVCD DVDオーディオ JPEG
（動画部のみ）

＜再生中または一時停止中に＞

1 ズーム を押す

- 押すごとに、倍率が変わります（OFF、ズーム1～6）。
- JPEGディスクは、ズーム1、ズーム2、OFFと変わります。また、スライド再生中は倍率を変えることはできません。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して、見たい部分を選ぶ

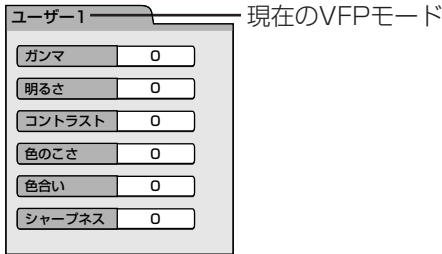
ご注意
- 拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

画質を調節する[VFP]

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SVCD JPEG

<再生中または一時停止中に>

1 VFPを押す

例：
テレビ画面

設定項目

ガンマ：画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。
（設定範囲：−3〜+3）

明るさ：画面の明るさを調節します。
（設定範囲：−8〜+8）

コントラスト：画面のコントラストを調節します。
（設定範囲：−7〜+7）

色のこさ：画面の色の濃さを調節します。
（設定範囲：−7〜+7）

色合い：画面の色合いを調節します。
（設定範囲：−7〜+7）

シャープネス：画面のシャープさを調節します。
（設定範囲：−8〜+8）

2 ◀ ▶を押してVFPモードを選ぶ

ノーマル：通常はこれを選びます。
（調節はできません）→手順7へ

シネマ：照明を落とした部屋で映画ソフトを鑑賞するのに向いています。
（調節はできません）→手順7へ

ユーザー1、ユーザー2：お好みの画質に調節ができます。
→手順3へ

3 ▲ ▼を押して、調節したい項目を選ぶ

4 決定を押す

例：

5 ▲ ▼を押して数値を変更する

6 決定を押す

他の項目も調節したいときは、手順3に戻ります。

7 VFPを押す

お知らせ
- 操作の途中で数秒間何も操作をしないと、それまでの変更が自動で設定されます。
- VFPはVideo Fine Processorの略です。

サラウンド感を出す[3Dフォニック]

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SVCD オーディオCD MP3 WMA

二本のスピーカーで擬似的にサラウンドの効果を得ることができます。

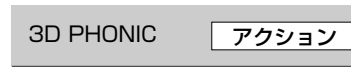
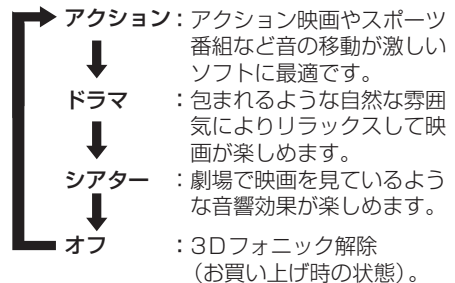
<再生中に>

3D PHONICを押す

例：
テレビ画面

3D PHONIC　アクション

- 押すごとに、次のように切り換わります。

アクション：アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
↓
ドラマ：包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。
↓
シアター：劇場で映画を見ているような音響効果が楽しめます。
↓
オフ：3Dフォニック解除（お買い上げ時の状態）。

- 3Dフォニックが有効になっているときは、表示窓に 3D PHONIC と表示されます。

お知らせ
- スピーカー/ヘッドホンともに効果があります。
- 雑音が多いときや音が歪むときは、「オフ」にしてください。
- DVDオーディオの場合、ディスクによっては操作できないものもあります。

再生レベルを調節する [DVDレベル]

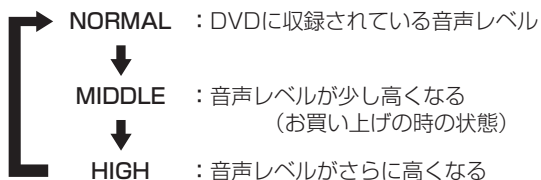
DVD ビデオ　DVD オーディオ

DVDの音声は、他の種類のディスクよりも低いレベル（音量）で収録されている場合があります。この差が気になるときはDVDレベル（DVD LEVEL）を調節してください。

＜再生中に＞

DVDレベル を押す

- 押すごとに、次のように切り換わります（本体の表示窓に表示されます）。

NORMAL　：DVDに収録されている音声レベル
↓
MIDDLE　：音声レベルが少し高くなる
（お買い上げの時の状態）
↓
HIGH　：音声レベルがさらに高くなる

- 再生される音を聞きながら、お好みのレベルを選んでください。

お知らせ
- 設定したDVDレベルは、DVDの再生時のみ有効です。
- DVDレベルを変えてもデジタル音声出力端子からの出力レベルは変わりません。
- 録音される音には影響しません。

よりきれいな映像を楽しむ[プログレッシブ]

本機をプログレッシブモードにすると、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

ご注意
プログレッシブモードで映像をお楽しみいただくためには、次のことが必要です。
- 本機と接続するテレビに、D入力端子（D1を除く）がある
- 本機とテレビをD端子用ビデオコードで接続している（☞13ページ）

上記以外のときは、インターレースモードにしてください。プログレッシブモードにすると映像が乱れることがあります。

＜ディスクを再生中または停止中に＞

プログレッシブ を押しつづける

- 押しつづけるごとに、次のように切り換わります。

インターレースモード（お買い上げの時の状態）

INTERLACE

プログレッシブモード

PROGRESSIVE

ボーナスグループを再生する

DVD オーディオ

DVDオーディオには、ボーナスグループと呼ばれる特別なグループを収録したものがあります。

• 本体の表示窓に、「BONUS」表示が点灯しているときに操作できます。

<再生中に>

1 TV/オーディオ切換スイッチをオーディオ側にする

2 グループスキップ >> をくり返し押してボーナスグループを選ぶ

• テレビ画面と本体の表示窓に「KEY_ _ _ _」が表示されます。

3 数字ボタンを押して暗証番号(4ケタ)を入力する

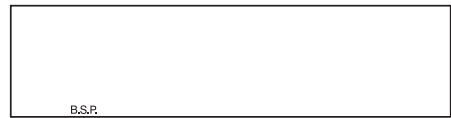
• 暗証番号を知る方法は、ディスクによって異なります。

4 決定を押す

• 正しい暗証番号を入力すると、「BONUS」表示が消え、ボーナスグループの再生が始まります。
• 暗証番号を間違えたときは、もう一度、正しい暗証番号を入力します。

静止画を見る[B.S.P.]

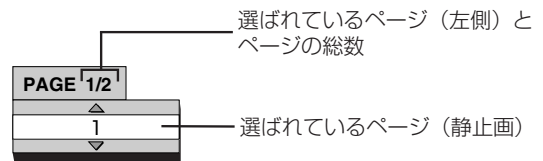
DVD オーディオ

DVDオーディオには、静止画が収録されているものがあります。この静止画の中にはB.S.P.(ブラウザブル スチル ピクチャー)と呼ばれるものがあり、お好みでページをめくるように、静止画を切り換えることができます。

• 本体の表示窓に、「B.S.P」が点灯しているときに操作できます。

<再生中に>

1 ページを押す

• 押すごとに、静止画が切り換わります。
• ▲ ▼ でも選べます。

例:テレビ画面

2 そのまま数秒間待つか、決定を押す

お知らせ

• メニューバーで操作することもできます。(☞33ページ)

プログラム再生

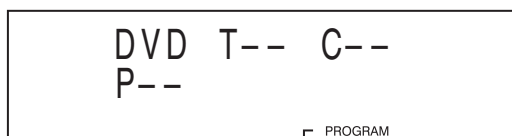
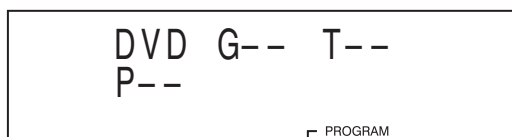
DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD　MP3 WMA

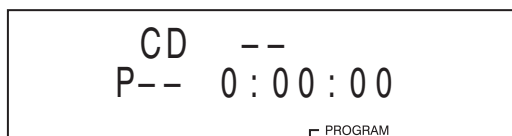
最大99のチャプター/トラックを好みの順番でプログラムできます。同じチャプター/トラックを何度もプログラムできます。

<停止中に>

1 TV/オーディオ切換スイッチをオーディオ側にする

2 再生/FMモード を押して「PROGRAM」を選ぶ

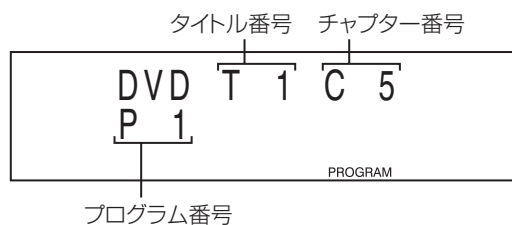
■ DVDビデオのとき

■ DVDオーディオのとき

DVD G-- T--
P--
PROGRAM
PROGRAM表示

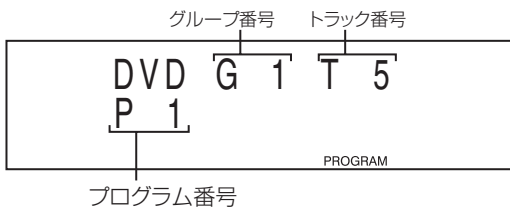
■ オーディオCDのとき

• ビデオＣＤ／スーパービデオＣＤのときは、「VCD」と表示されます。

テレビ画面の例：DVDビデオのとき

3 数字ボタン（1～10、+10）でプログラムする

■ DVDビデオのとき

• 最初にタイトル番号を選び、次にチャプター番号を選びます。

■ DVDオーディオ（またはMP3/WMAファイル）のとき

• 最初にグループ番号を選び、次にトラック番号を選びます。

■ オーディオCDのとき

• トラック番号を選びます。

テレビ画面の例:DVDビデオのとき

- 数字ボタンの使い方は「数字ボタンの使い方」(☞15ページ)をご覧ください。
- DVDオーディオのボーナスグループを選ぶときは、あらかじめ29ページ「ボーナスグループを再生する」の操作をして、「BONUS」表示を消してください。
- チャプター/トラックの入力数が99を超えると、「MEMORY FULL」が表示されます。

4 DVD ▶ を押す

お知らせ
- ディスクとMDの曲を組み合わせたプログラム再生はできません。

プログラムの内容を確認する

停止中に ⊖前 ⏮ または 次⊕ ⏭ をくり返し押す

- ここでプログラムを(最後の曲として)追加したり、(最後の曲を)削除することもできます。(☞手順3)

プログラム再生を解除するには

停止中に 再生/FMモード をくり返し押して「PROGRAM」以外を表示させる

- プログラム内容は削除されません。

プログラム内容をすべて削除するには

停止中に CANCEL を押し続ける

お知らせ
- ディスクを取り出したり、電源を「切」にしてもプログラムの内容は削除されます。また、プログラム再生も解除されます。

ランダム再生

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SVCD オーディオCD MP3 WMA

ランダム(無作為)な順序でチャプター/トラックを再生することができます。

<停止中に>

1 再生/FMモード をくり返し押して「RANDOM(ランダム)」を選ぶ

例:オーディオCDのランダム再生のとき

CD RANDOM

RANDOM

RANDOM表示

- テレビ画面には ランダム または「RANDOM」と表示されます。

2 DVD ▶ を押す

お知らせ
- ディスクとMDの曲を組み合わせて使うランダム再生はできません。
- ⏮前 をくり返し押しても前の曲には戻れません。
- 一度再生した曲は、再び選曲されません。

ランダム再生を解除するには

停止中に 再生/FMモード をくり返し押して「RANDOM」以外を表示させる

お知らせ
- ディスクを取り出したり、電源を「切」にしても、ランダム再生は解除されます。

リモコンのボタンの位置は
25ページをご覧ください。

リピート再生

DVD ビデオ　DVD オーディオ　ビデオ CD　SVCD　オーディオ CD

MP3/WMAディスクとJPEGディスクのリピート再生については36ページをご覧ください。

<再生中に>

リピート を押す

• 押すごとに、リピートの種類が切り換わります。

DVDビデオのとき

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のチャプターをリピート	CHAP*（チャプター）	REPEAT CHAPTER*
現在のタイトルをリピート	TITLE（タイトル）	REPEAT TITLE ALL
リピートを解除	OFF（オフ）	REPEAT OFF

DVDオーディオのとき

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のトラックをリピート	TRACK*（トラック）	REPEAT TRACK*
現在のグループをリピート	GROUP（グループ）	REPEAT GROUP GROUP
リピートを解除	OFF（オフ）	REPEAT OFF

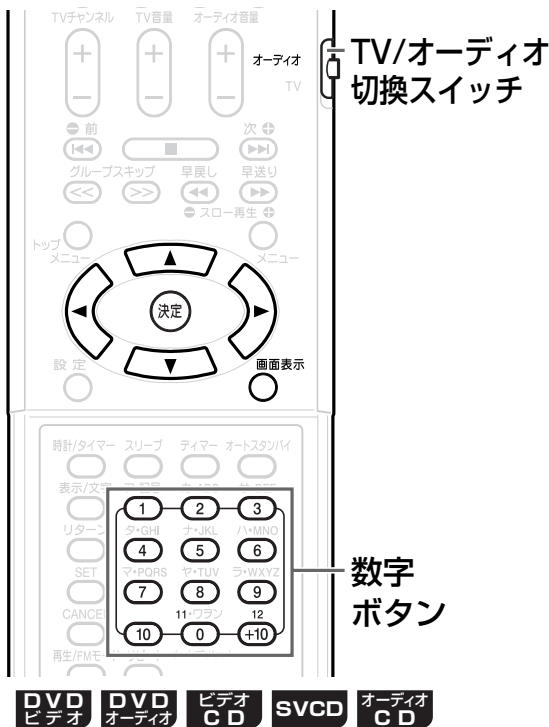
オーディオCD/ビデオCD/SVCDのとき

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のトラックをリピート	TRACK*（トラック）	REPEAT TRACK*
全トラックをリピート	ALL（オール）	REPEAT ALL ALL
リピートを解除	OFF（オフ）	REPEAT OFF

* プログラム再生中およびランダム再生中は「STEP」（ステップ）と表示されます。

お知らせ

• ビデオCDとSVCDはPBCオフで再生中に操作できます。（☞22ページ）
• メニューバーで操作することもできます。（☞33ページ）
• 「A-Bリピート」（指定した範囲のくり返し再生）の操作方法は、34ページをご覧ください。

ステータスバーとメニューバー

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD

テレビ画面にステータスバーとメニューバーを表示させ、これらを使って操作することができます。

ご注意
- 数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

ステータスバーとメニューバーを使う

<再生中に>

1 画面表示 を2回押す

- 上記はDVDビデオの例です。

2 ◀▶ を押して、操作したい項目を選ぶ

3 決定 を押す

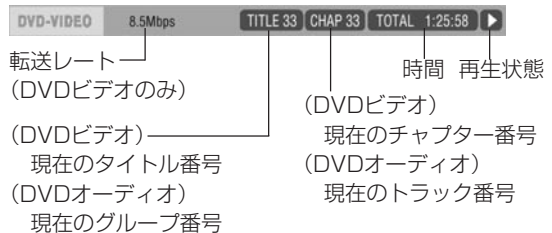
- 選んだ機能が設定できるようになります。設定内容については次の「機能一覧」をご覧ください。
- メニューバーの文字が青いときは、その機能が働いています。
- メニューバーを消したいときは 画面表示 を押します。

機能一覧

特に操作説明のない機能については、▲▼で選択、決定で決定します。

機能	説明
TIME 時間表示選択	本体の表示窓とステータスバーに表示される時間情報のモードの選択。決定を押すごとにモードが切り換わる。 **DVDビデオ/DVDオーディオ** TOTAL：タイトル/グループの経過時間 T.REM：タイトル/グループの残り時間 TIME　：チャプター/トラックの経過時間 REM　：チャプター/トラックの残り時間 **オーディオCD/ビデオCD/SVCD** TIME　：トラックの経過時間 REM　：トラックの残り時間 TOTAL：ディスクの先頭からの経過時間 T.REM：ディスクの残り時間
リピートモード	32ページ参照。
タイムサーチ	34ページ参照。
CHAP.➡/TRACK➡ チャプターサーチ/トラックサーチ	**DVDビデオ/DVDオーディオ** チャプター/トラックを選ぶ。数字ボタンを押してチャプター/トラック番号を入力し、決定を押す。 例： 5：⑤　24：②➜④
音声	**DVDビデオ/DVDオーディオ/ビデオCD/SVCD** 25ページ参照。
字幕	**DVDビデオ/DVDオーディオ/SVCD** 26ページ参照。
1/3 アングル	**DVDビデオ/DVDオーディオ** 26ページ参照。
PAGE -/- ページ切り換え	**DVDオーディオ** DVDオーディオのディスクに収録されている静止画(B.S.P.)を切り換える(29ページ参照)。

ステータスバーに表示される情報

DVDビデオ/DVDオーディオ(下はDVDビデオの例)

ビデオCD/SVCD/オーディオCD(下はオーディオCDの例)

お知らせ
再生状態のマークは、オンスクリーンガイド(☞21ページ)のマークと同じ意味です。

ディスクを再生する

指定した範囲をくり返し再生する[A-Bリピート]

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD

<再生中に>

1 画面表示を2回押す

• メニューバー(☞ 33ページ)が表示されます。

2 ◀▶を押して OFF を選ぶ

3 決定を押す

4 ▲▼を押して A-B を選ぶ

5 くり返す範囲の始点で決定を押す
(Aポイントの指定)

• メニューバーのアイコンが A- になります。

6 くり返す範囲の終点で決定を押す
(Bポイントの指定)

• メニューバーのアイコンが A-B になり、本体の表示窓に A-Bが表示され、A-Bポイント間がリピート再生されます。

A-Bリピート再生を解除するには

• 次の操作をすると、A-Bリピートは解除されます。
  • ■を押す
  • A-B を選んで決定を2回押す（オフを選ぶ）

お知らせ
• ビデオCDとSVCDはPBCオフで再生中に操作できます。
• タイトルやトラックにまたがるA-Bリピートはできません。また、PBC再生中、プログラム再生中、ランダム再生中、リピート再生中は、A-Bリピートができません。

時間を指定する[タイムサーチ]

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD

<再生中に>

1 TV/オーディオ切換スイッチをオーディオ側にする

2 画面表示を2回押す

• メニューバー(☞ 33ページ)が表示されます。

3 ◀▶を押して を選ぶ

4 決定を押す

5 数字ボタン(1～9、0)を押して時間を入力する

例：(0時間)23分45秒から再生したいとき

0→2→3→4→5

の順に押す。「分・秒」は省略できます。

• 間違えたときは◀を押して数字を消去し、入力し直します。

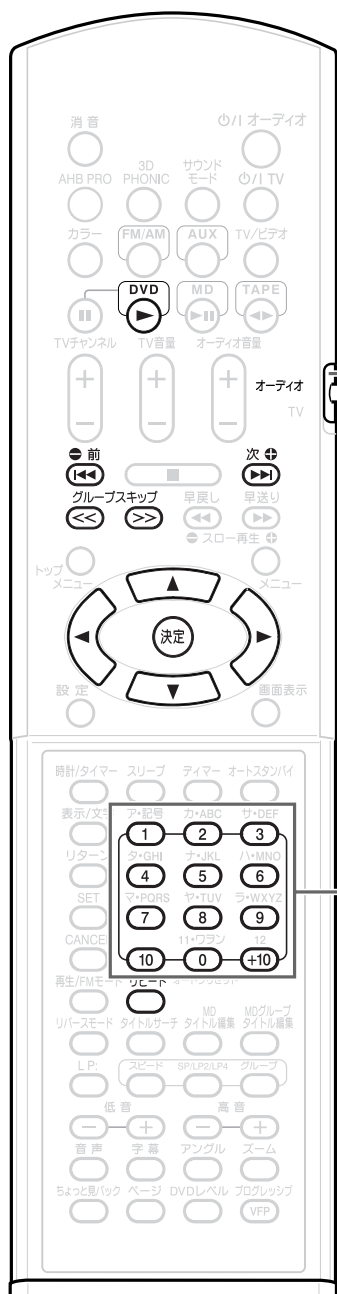
6 決定を押す

メニューバーを消すときは画面表示を押します。

お知らせ
• ディスクによっては操作できないことがあります。
• プログラム・ランダム再生中はこの機能は働きません。
• ビデオCD/SVCDは停止中またはPBCオフで再生中、オーディオCDはいつでも操作できます。
• DVDビデオはタイトルの先頭から、DVDオーディオは再生中のトラックの先頭から、ビデオCD/SVCDとオーディオCDでのタイムサーチは、次のようになります。
  • 停止中はディスクの先頭からの時間でのタイムサーチ
  • 再生中は、現在のトラック内でのタイムサーチ

MP3/WMA/JPEG(ジェイペグ)ディスクを再生する

ご注意

- 数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

再生する

MP3 WMA　JPEG

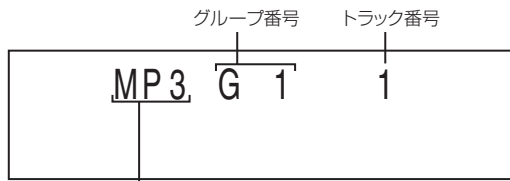
ここではMP3/WMAディスクの表示を例に説明します。
JPEGディスクのときは、「トラック(Track)」を「ファイル(File)」に読みかえてください。

お知らせ

MP3/WMAとJPEGの両方が記録されているディスクのときは、どちらを再生するか設定してください(☞37ページ)。

1 ディスクを入れる

例:テレビ画面

例:表示窓

WMAの場合は「WMA」、JPEGの場合は「JPG」と表示されます。

2 ▲/▼を押してグループを選ぶ

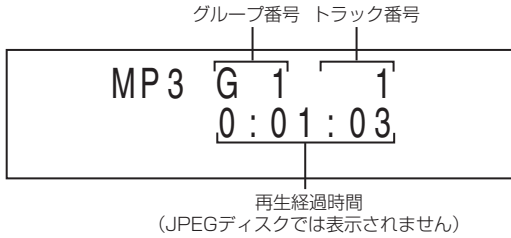
3 ▶を押してトラックリストへ移動する

◀を押すとグループリストに戻れます。

(次ページへ続く)

4 ▲ ▼ を押してトラックを選ぶ

5 DVD ▶ または 決定 を押す

例：再生中の表示

- 最初にトラック名（ファイル名）がスクロール表示されます。
- MP3/WMAの場合は、トラック名に続いてタグの情報（Title、Artist、Album）もスクロール表示されます。
- トラック名やタグの情報に半角英数字とカタカナ以外の文字が含まれるときは、正常に表示されません。

お知らせ
- 手順2では グループスキップ << >> も使えます。
- 手順4では数字ボタンも使えます。そのときは手順3と5は不要です。（数字ボタンの使い方は15ページをご覧ください。）
- 手順4では 前 次 も使えます。そのときは手順**3**は不要です。

スライドショー再生について JPEG

- JPEGディスクでは手順5で DVD ▶ を押すとそのファイルから連続して再生し（スライドショー再生）、決定を押すと選んだファイルのみ再生します。
- スライドショー再生での1ファイルの表示時間は約3秒です。
- ファイルの再生が一巡すると自動で停止します。

リピート（くり返し）再生する

MP3 WMA JPEG

＜再生中に＞

リピート を押す

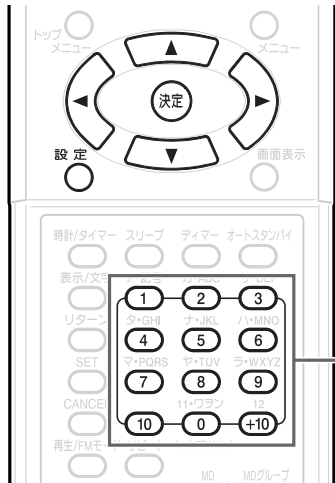
- 押すごとに、リピートの種類が切り換わります。

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のトラックをリピート（MP3/WMAのみ）	REPEAT* TRACK	REPEAT* TRACK
現在のグループをリピート	REPEAT GROUP	REPEAT GROUP GROUP
ディスク全体をリピート	REPEAT ALL	REPEAT ALL ALL
リピートを解除	表示なし	REPEAT OFF

* プログラム再生中およびランダム再生中は「STEP」（ステップ）と表示されます。

お知らせ
- 停止中もリピートの種類を切り換えることができます。
- 再生できないファイルがあるときはリピートモードは自動で解除されます（☞70ページ）。

各種設定

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SVCD オーディオCD MP3 WMA JPEG

お買い上げ時の本機の設定を、お使いの環境に合わせて変更することができます。

ご注意

- 数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。 オーディオ TV

お知らせ

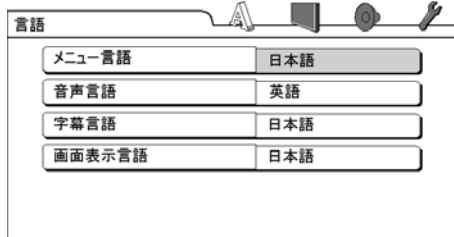
- ワイドテレビでは各種設定画面の上下が表示されないことがあります。テレビ側の設定で画像サイズを変更してください。

基本操作

ここでは各種設定を変更する基本操作について説明します。

＜停止中またはディスクが入っていないとき（「NO DISC」表示中）＞

1 設定 ◯を押す

- 本体表示窓に「SETTING」と表示され、テレビ画面には次のように表示されます。

- このあとはテレビ画面の説明にしたがって操作してください。

言語設定画面

お知らせ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、そのディスクの最適な設定の言語で表示されます。
- “AA”などの言語コードについては、「言語コード一覧」（☞ 40ページ）をご覧ください。

設定項目	設定内容
メニュー言語	**DVDビデオのメニューの言語を選びます。**
音声言語	**DVDビデオの音声の言語を選びます。**
字幕言語	**DVDビデオの字幕の言語を選びます。**
画面表示言語	**設定画面に表示される言語を選びます。**

映像設定画面

設定項目	設定内容（ がお買い上げ時の設定です）
TVタイプ	**お使いのテレビに適した表示方法を選びます。** **16:9:** 画面サイズが16:9に固定されているワイドテレビと接続したとき、この設定にします。（4:3で収録されたDVDビデオを再生するとき、本機が出力信号の画面幅を自動調節します） **レターボックス：** 従来（4:3）のテレビ用。横長の映像は上下に黒い隙間が表示されます。 **パンスキャン:** 従来（4:3）のテレビ用。横長の映像は左右が切り取られます（ディスクがパンスキャン非対応のときはレターボックス表示となります）。
映像ソース	**映像ソースに適した設定を選びます。** **ビデオ:** ビデオ素材の映像に適しています。 **フィルム:** フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材の映像に適しています。 **オート：** 素材のタイプ（ビデオ/フィルム）を自動的に判別します。
スクリーンセーバー	**スクリーンセーバーの オン / オフを選びます。（スクリーンセーバーは、静止画が表示されてから約５分操作がないときに動作します）**
ファイルタイプ	**1枚のディスクに オーディオ（MP3/WMA）と静止画（JPEG）の両ファイルが含まれているとき、どちらを再生するか選びます。設定を変えたときは、トレイを開け/閉めするか、電源を入れ直してください。（オーディオまたは静止画のいずれか一方のみが記録されたディスクはこの設定に関わらず再生できます）**

（次ページへ続く）

リモコンのボタンの位置は37ページをご覧ください。

音声設定画面

設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
デジタルOUT	**デジタル音声出力端子に接続する機器（AVアンプなど）に合わせて出力信号の種類を次から選べます（設定項目と出力信号については下の一覧表をご覧ください）。** **PCMのみ:** リニアPCMのみに対応している機器。 **DOLBY DIGITAL/PCM:** ドルビーデジタルデコーダーまたは同機能を持つ機器。 **ストリーム/PCM:** DTS/ドルビーデジタルデコーダーまたはこれらの機能を持つ機器。
ダウンミックス	**接続した機器に合わせて、DVDビデオのデジタル出力端子からの信号を切り換えます。「デジタルOUT」を「PCMのみ」にしているとき設定します。** **ドルビーサラウンド:** ドルビープロロジックデコーダ内蔵の機器。 **ステレオ:** 通常の機器。 • 3D フォニックがオンのときは、ダウンミックスは働きません。
D（ダイナミック）レンジコントロール	**小音量で再生したとき、大きな音と小さな音の聞こえ方の差を補正します。（ドルビーデジタルで収録されたDVDのみ）** **オート:** Dレンジコントロールが自動的に働く。 **オン:** Dレンジコントロールが常に働く。

その他設定画面

設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
リジューム	**オン／オフを選ぶ。（☞22ページ）**
オンスクリーンガイド	**ディスクや本機の状態を示すマークを表示するオンスクリーンガイドの オン /オフを選びます（マークについては21ページをご覧ください）。**
AVコンピュリンクモード	**弊社のテレビやAVアンプと連動させるとき、接続機器の端子に合わせて次から選びます（詳しくは「AVコンピュリンクの活用」（☞68ページ）をご覧ください）。** **DVD1:** テレビのビデオ3入力またはAVアンプのDVD入力に接続。 **DVD2:** テレビのビデオ1入力に接続。 **DVD3:** テレビのビデオ2入力に接続。
視聴制限	**DVDビデオの過激なシーンをカットしたり、他のシーンに差し替えたりする視聴制限を設定します。（視聴制限に対応しているディスクのみ）** **カントリーコード（☞39ページ）** 通常は「JP」を選びます。 **セットレベル:** 数値が小さいほど制限が厳しい。「なし」は制限なし。 **パスワード（必須）:** 数字ボタン（1～9, 0）で、4桁のパスワードを毎回必ず設定します（パスワードを忘れたときは「8888」を入力してください）。 このパスワードは再生時にも入力する必要があります。 • パスワードを3回間違えると、自動的に[EXIT]が選ばれます。

デジタルOUTの設定項目と出力信号の関係一覧

再生ディスク	「デジタルOUT」設定		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDビデオ 96kHz リニアPCMのDVDビデオ	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
48/96/192kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDオーディオ	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
44.1/88.2/176.4kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDオーディオ	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのDVDビデオ	DTSビットストリーム	48kHz、16ビットのリニアPCM	
ドルビーデジタルのDVDビデオ・DVDオーディオ	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16ビットステレオのリニアPCM
オーディオCD・ビデオCD・SVCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM/48kHz、16ビットのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム	44.1kHz、16ビットのリニアPCM	
MP3/WMAのディスク	32/44.1/48kHz、16ビットのリニアPCM		

お知らせ

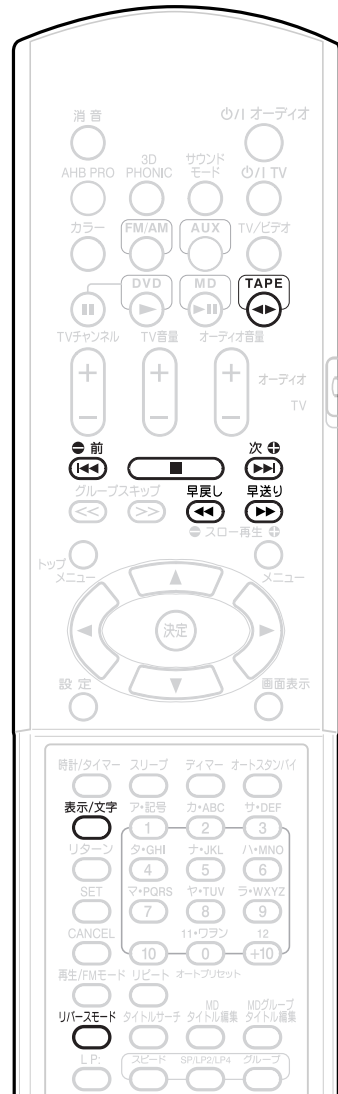
デジタル音声出力端子について著作権保護の設定がされていないDVDビデオでは、20ビットまたは24ビットで出力されるものがあります。

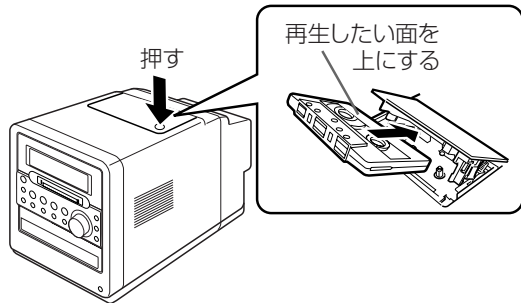
カントリー／エリアコード一覧

AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	**Japan**
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

言語コード一覧

コード	言　語	コード	言　語
AA	アファル語	MI	マオリ語
AB	アブハジア語	MK	マケドニア語
AF	アフリカーンス語	ML	マラヤーラム語
AM	アムハラ語	MN	モンゴル語
AR	アラビア語	MO	モルダビア語
AS	アッサム語	MR	マラータ語
AY	アイマラ語	MS	マライ（マレー）語
AZ	アゼルバイジャン語	MT	マルタ語
BA	バシキール語	MY	ミャンマー語
BE	ベラルーシ語	NA	ナウル語
BG	ブルガリア語	NE	ネパール語
BH	ビハーリー語	NL	オランダ語
BI	ビスラマ語	NO	ノルウェー語
BN	ベンガル語、バングラ語	OC	プロバンス語
BO	チベット語	OM	（アフォン）オロモ語
BR	ブルトン語	OR	オリヤー語
CA	カタロニア語	PA	パンジャブ語
CO	コルシカ語	PL	ポーランド語
CS	チェコ語	PS	パシュトー語
CY	ウェールズ語	PT	ポルトガル語
DA	デンマーク語	QU	ケチュア語
DZ	ブータン語	RM	ラエティ-ロマン語
EL	ギリシャ語	RN	キルンディ語
EO	エスペラント語	RO	ルーマニア語
ET	エストニア語	RU	ロシア語
EU	バスク語	RW	キニヤルワンダ語
FA	ペルシャ語	SA	サンスクリット語
FI	フィンランド語	SD	シンド語
FJ	フィジー語	SG	サンド語
FO	フェロー語	SH	セルボアクロアチア語
FY	フリジア語	SI	シンハラ語
GA	アイルランド語	SK	スロバキア語
GD	スコットランドゲール語	SL	スロベニア語
GL	ガルシア語	SM	サモア 語
GN	グアラニ語	SN	ショナ語
GU	グジャラード語	SO	ソマリ語
HA	ハウサ語	SQ	アルバニア語
HI	ヒンディー語	SR	セルビア語
HR	クロアチア語	SS	シスワティ語
HU	ハンガリー語	ST	セストゥ語
HY	アルメニア語	SU	スンダ語
IA	国際語	SV	スウェーデン語
IE	国際語	SW	スワヒリ語
IK	イヌピック語	TA	タミール語
IN	インドネシア語	TE	テルグ語
IS	アイスランド語	TG	タジク語
IW	ヘブライ語	TH	タイ語
JI	イディッシュ語	TI	ティグリニャ語
JW	ジャワ語	TK	トゥルクメン語
KA	グルジア語	TL	タガログ語
KK	カザフ語	TN	セツワナ語
KL	グリーンランド語	TO	トンガ語
KM	カンボジア 語	TR	トルコ語
KN	カンナダ語	TS	ツォンガ語
KO	韓国（朝鮮）語	TT	タタール語
KS	カシミール語	TW	トウィ語
KU	クルド語	UK	ウクライナ語
KY	キルギス語	UR	ウルドゥー語
LA	ラテン語	UZ	ウズベク語
LN	リンガラ語	VI	ベトナム語
LO	ラオス語	VO	ヴォラピュク語
LT	リトアニア語	WO	ウォロフ語
LV	ラトビア語、レット語	XH	コーサ語
MG	マダガスカル語	YO	ヨルバ語
		ZU	ズール語

テープを再生する よく使います！

	基　本　操　作
停止する	（■）を押す。
早送り・巻き戻しをする	（次 ▶▶I）または（前 I◀◀）を押す。 • 順方向（▶）の再生中は、（次 ▶▶I）が早送り、（前 I◀◀）が巻き戻しになります。 • 逆方向（◀）の再生中は、（前 I◀◀）が早送り、（次 ▶▶I）が巻き戻しになります。 • （早戻し ◀◀）または（早送り ▶▶）でも同様の操作ができます。

1　テープを入れる

ご注意

- ご使用の前にテープのたるみを取り除いてください(☞73ページ)。
- C-120やC-150などの長時間テープは使用しないでください。テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。
- 本機は、ノーマルテープ(TYPEⅠ)の再生に対応しています。ハイポジションテープ(TYPEⅡ)やメタルテープ(TYPE Ⅳ)は、特性が異なるためお勧めできません。再生すると音質が変わります。

2　リバースモード をくり返し押してリバースモードを選ぶ

：おもて面から
うら面への往復再生

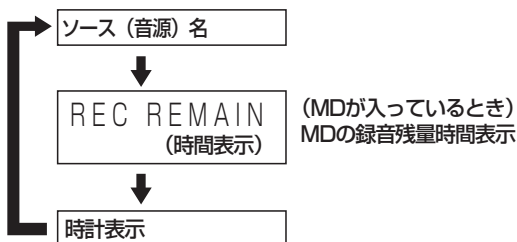
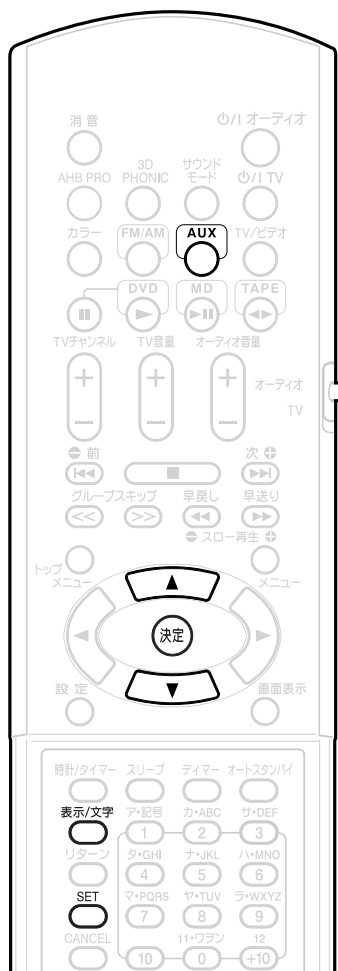
：両面の連続再生
（再生を停止するまでくり返し）

：おもて面、またはうら面のみの
片道再生

3　TAPE を押す

- 再生が始まります。
- 電源が「切」のとき、TAPEを押すと自動で電源が「入」になります。
- TAPEを押すごとにテープの走行方向が変わります。テープを入れ、最初にTAPEを押したときは必ず順方向(おもて面)で再生します。
- テープのおもて面再生中は右向きのテープ走行方向表示 ►が、テープのうら面再生中は左向きのテープ走行方向表示◄が表示されます。

表示窓の表示を変える

表示/文字 を押す

- 押すごとに、次のように切り換わります。

他の機器の音声を聞く

1 （AUX）**を押す**

- 押すごとに、次のように切り換わります。

AUX　：本機背面のAUX端子に接続した機器の音声を聞きたいとき
↕
AUX-DIGITAL：本機背面の光デジタル入力端子に接続した機器の音声を聞きたいとき

2 他の機器の再生を始める

- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

3 音量などを調節する

- 音量などの調節方法は「基本操作」（☞16、17ページ）をご覧ください。

他の機器の音声入力レベルを調節する

AUXの音声入力レベルを調節する

1 （AUX）**をくり返し押して「AUX」を選ぶ**

2 （「AUX」が表示された状態で、）入力レベルが表示されるまで（SET）**を押し続ける**

- 押しつづけるごとに、次のように切り換わります。

LEVEL1：通常はこちらでお使いください。（お買い上げ時の設定）
↕
LEVEL2：他の機器からの音声入力レベルが小さいときに選びます。

AUXDIGITALの音声入力レベルを調節する

1 （AUX）**をくり返し押して「AUX-DIGITAL」を選ぶ**

2 （「AUX-DIGITAL」が表示された状態で、）入力レベルが表示されるまで（SET）**を押し続ける**

3 （▲）**または**（▼）**を押してレベルを調節する**

- ー12dB〜0〜12dB（2dB単位）の範囲で調節できます（お買い上げ時は0dBに設定されています）。これをデジタルRECレベルコントロールといいます。

4 （決定）**を押す**

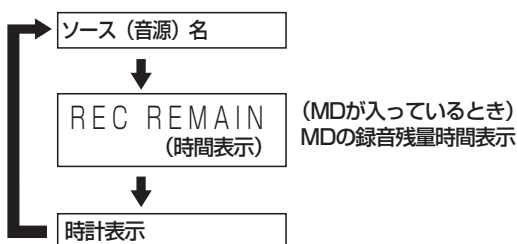
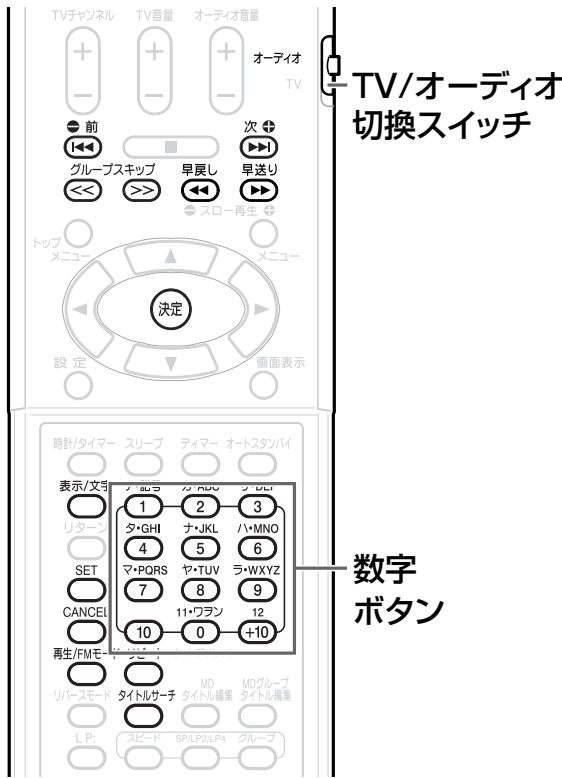
表示窓の表示を変える

（表示/文字）**を押す**

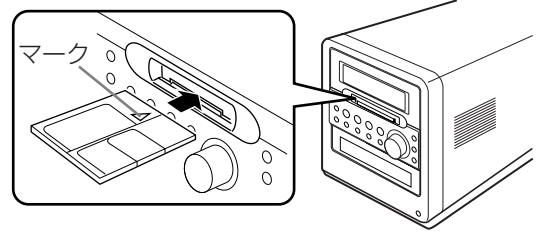
- 押すごとに、次のように切り換わります。

MDを再生する

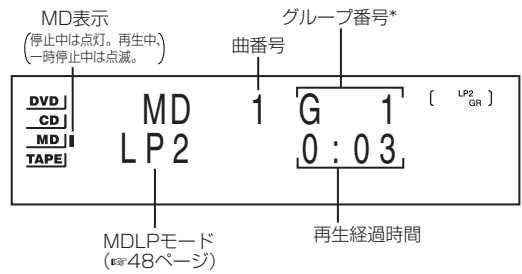
ご注意
- 数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

	基本操作
停止する	■ を押す。
一時停止する	再生中に MD ▶II を押す。 もう一度押すと再生を再開します。
頭出し（スキップ）	⊖前 I◀◀ ： 次⊕ ▶▶I ： くり返し押す。
早送り・早戻し（サーチ）	⊖前 I◀◀ ： 次⊕ ▶▶I ： 再生中に押し続ける。
	早戻し ◀◀ ： 早送り ▶▶ ： 再生中に押す。 （サーチ中に MD ▶II を押すとそこから再生が始まります）
ディスクを取り出す	本体の MD⏏ を押す。

MDを聞く よく使います！

＜電源「入」のとき＞

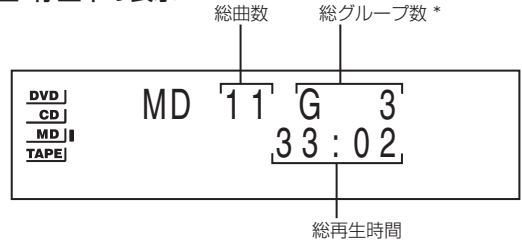
1 MDを入れる

ご注意
- 電源「切」のときはMDを入れないでください。無理に押し込むと故障の原因となります。

2 MD ▶II を押す

■ 再生中の表示

- 曲タイトルがある場合は、最初に表示されます。

* グループ分けされていないときは「G－－」と表示されます。

ご注意
- MD表示が点灯または点滅しているとき、新たにMDは入りません。無理に押し込むと故障の原因となります。

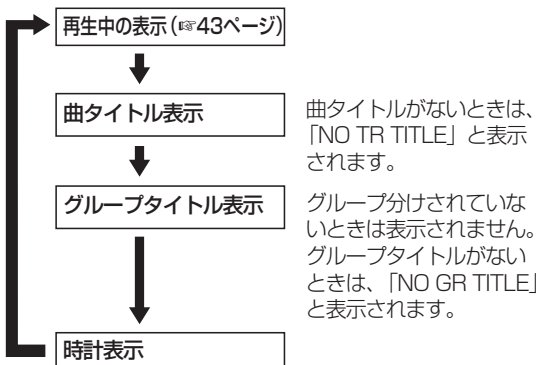
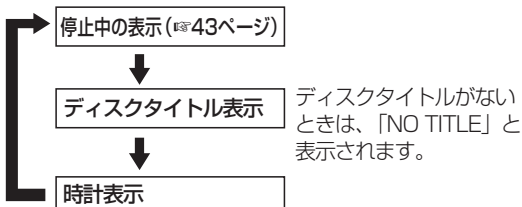
■ 停止中の表示

- ディスクタイトルがある場合は、最初に表示されます。
- 長いタイトルはスクロールされます。

* グループ分けされていないときは「G－－」と表示されます。

表示窓の表示を変える

表示/文字 を押す

• 押すごとに、次のように切り換わります。

■ 再生中

■ 停止中

お知らせ

• ソース（音源）がMDのとき、未録音のMDを入れると「BLANK DISC」と表示されます。

聞きたい曲を指定する（ダイレクト選曲）

1 TV/オーディオ切換スイッチをオーディオ側にする

2 聞きたい曲を数字ボタン（1 ～ 10、+10）で選ぶ

• 「数字ボタンの使い方」（☞15ページ）をご覧ください。

MDのグループ再生

お好みのグループだけを再生できます。

<停止中に>

1 再生/FMモード をくり返し押して「GROUP」を選ぶ

2 MD ▶II を押す

• グループ1の再生が始まります。
• グループが1つもないときは、「GROUP」表示が消え、通常の再生になります。

3 グループスキップ << >> を押して、聞きたいグループを選ぶ

• 選んだグループの曲がすべて再生されると自動的に停止します。

解除するには

停止中に 再生/FMモード をくり返し押して、「GROUP」以外を選ぶ

お知らせ

• MDを取り出したり、電源を「切」にしても、グループ再生は解除されます。

プログラム再生

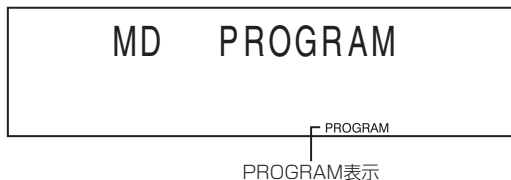
最大32曲までプログラムして聞くことができます。

<停止中に>

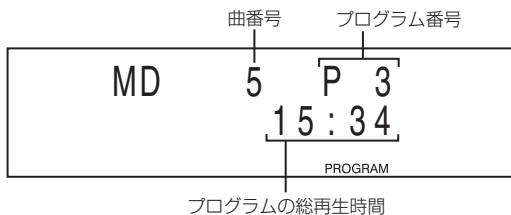
1 TV/オーディオ切換スイッチをオーディオ側にする

2 再生/FMモード を押して「PROGRAM」を選ぶ

例:プログラム再生のとき

PROGRAM表示

3 数字ボタン(1～10、+10)で曲番号を選ぶ

• 「数字ボタンの使い方」(☞15ページ)をご覧ください。

曲番号　プログラム番号

プログラムの総再生時間

お知らせ
- プログラムを削除したいときは停止中に CANCEL を押します。プログラムの最後の曲から順番に削除されます。CANCEL を押し続けるとプログラムの内容がすべて削除されます。
- 33曲目をプログラムしようとすると「MEMORY FULL」と表示され、それ以上はプログラムできません。
- プログラムの総再生時間が、2時間31分以上になると、「--:--」と表示されます。

4 MD ▶II を押す

お知らせ
- DVDやCDと、MDの曲を組み合わせたプログラム再生はできません。

プログラムの内容を確認する

停止中に ⊖前 |◀◀ または 次⊕ ▶▶| をくり返し押す

• ここでプログラムを(最後の曲として)追加したり、(最後の曲を)削除することもできます。(☞手順3)

プログラム再生を解除するには

停止中に 再生/FMモード をくり返し押して「PROGRAM」以外を表示させる

• プログラム内容は削除されません。

プログラム内容をすべて削除するには

停止中に CANCEL を押し続ける

お知らせ
- MDを取り出したり、電源を「切」にしてもプログラムの内容は削除されます。また、プログラム再生も解除されます。

MDのランダム再生

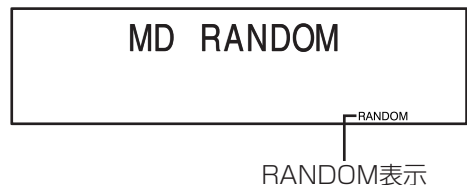
ランダム(無作為)な順序で曲を再生することができます。

<停止中に>

1 再生/FMモード をくり返し押して「RANDOM(ランダム)」を選ぶ

例:MDのランダム再生のとき

RANDOM表示

2 MD ▶II を押す

お知らせ
- DVDやCDと、MDの曲を組み合わせて使うランダム再生はできません。
- ⊖前 |◀◀ をくり返し押しても前の曲には戻れません。
- 一度再生した曲は、再び選曲されません。

ランダム再生を解除するには

停止中に 再生/FMモード をくり返し押して「RANDOM」以外を表示させる

お知らせ
• MDを取り出したり、電源を「切」にしても、ランダム再生は解除されます。

MDのリピート再生

聞きたい曲をくり返し再生することができます。

再生中に リピート をくり返し押してリピートモードを選ぶ

• 押すごとに、次のように切り換わります。

例： REPEAT ALLのとき

お知らせ
• MDを取り出したり、電源を「切」にしても、リピート再生は解除されます。

タイトルサーチ

MDの曲やグループのタイトルをサーチ（検索）し、再生できます。

<停止中に>

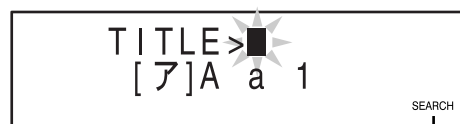
1 TV/オーディオ切換スイッチをオーディオ側にする

2 タイトルサーチ をくり返し押して、サーチの種類を選ぶ

曲のタイトルでサーチします。

Title（タイトル）の略です。

グループのタイトルでサーチします。
（グループ分けされているときのみ有効）

3 SET を押す

例： 曲タイトルサーチのとき

グループタイトルサーチのときは「GROUP SEARCH」と表示されます。

4 サーチしたいタイトルを入力する

• 最初の1～5文字まで入力します。
  例：「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを曲番号順にサーチします。
  「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順にサーチします。
• 文字の入力方法は「タイトル入力のしかた」（☞54ページ）をご覧ください。
• タイトルが記録されていない曲やグループ（NO TITLE）をサーチしたいときは、何も入力しないで手順5に進みます。

5 決定 を押す

• 「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。曲が見つかると再生が始まります。再生が終わると自動で次のタイトルサーチが始まります。

リモコンのボタンの位置は
43ページをご覧ください。

お知らせ
- 空白(スペース)も文字として扱われますが、空白(スペース)の後ろに文字がないときは、無視されます。
- 英大文字と英小文字は区別されます。
- 曲が見つからないときは「SEARCH END」と表示されます。

次の曲(またはグループ)をサーチする

次 ⊕ ▶▶| (または グループスキップ >>)を押す

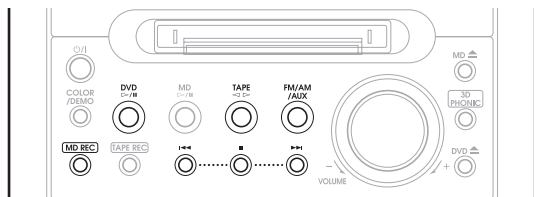
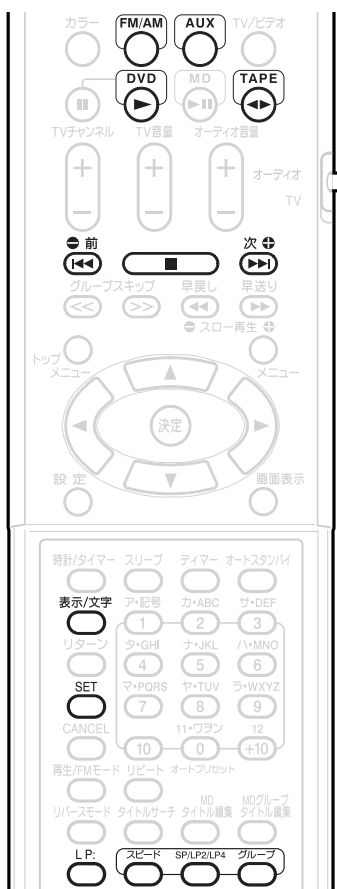
タイトルサーチをやめる

タイトルサーチ ⬭ を押す

- タイトルサーチが解除され、再生中の曲の頭に戻って再生を続けます。

SEARCH END

MDに録音する よく使います！

本体

リモコン

ディスクをまるごと1枚録音する

1 DVD を押してから ■ を押す

- ソース(音源)がDVDになり、**停止状態**になります。

■ DVDビデオ(音楽ソフトなど)のとき

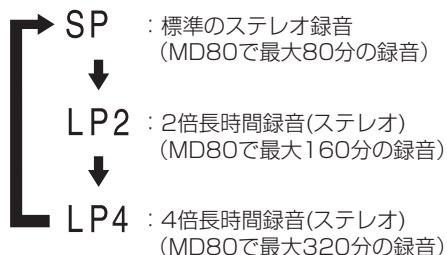
- タイトル/チャプターを再生し、一時停止してから 前 を押して最初の曲の先頭に戻します。
- ディスクによっては、正しく録音されないことがあります。

2 MDを入れる

- 誤消去防止つまみは閉じておいてください(☞73ページ)。

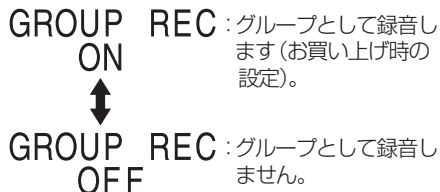
3 SP/LP2/LP4 を押してMDLPモードを設定する

- 押すごとに、次のように切り換わります。

SP ：標準のステレオ録音（MD80で最大80分の録音）
↓
LP2 ：2倍長時間録音(ステレオ)（MD80で最大160分の録音）
↓
LP4 ：4倍長時間録音(ステレオ)（MD80で最大320分の録音）
（LP4 → SPに戻る）

- MDLPモードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、SPモードにしてください。
- お手持ちのMD再生機（カーステレオやポータブルMDプレーヤーなど）がMDLPに対応していない場合はSPモードにしてください。

4 グループ を押してグループ録音を設定する

- 押すごとに、次のように切り換わります。

GROUP REC ON：グループとして録音します（お買い上げ時の設定）。
↕
GROUP REC OFF：グループとして録音しません。

- グループは、録音後にまとめたり解除することができます。(☞58、61ページ)

5 スピード を押して録音スピードを選ぶ

- 押すごとに、次のように切り換わります。

HIGH SPEED：5倍速録音（オーディオCDのみ）
↕
NORMAL REC：等速録音

- オーディオCD以外は「NORMAL REC」を選んでください。
- 録音される音質はどちらでも同じです。
- 5倍速録音中に音声を聞くことはできません。

6 本体の MD REC を押す

例：CDを録音中の表示

• 録音が終了すると、表示窓とディスクトレイのカラーパターン(☞17ページ)がMANUALカラーに変化してお知らせします。
• 「HCMS CANNOT COPY」が表示されたときは72、74ページをご覧ください。

お知らせ

• 録音時のレベルは自動で調節されます。
• 5倍速録音ではCDを高速で回転させるため、CDの状態によっては正しく録音されず、雑音などが録音されることがあります。このようなときは、等速で録音してください。
• 録音残量時間は、そのときの録音に使われるMDLPモードに応じて異なります。
• リピート再生での録音はできません。録音を開始すると自動でリピート再生が解除されます。
• DVDビデオを録音中は、字幕言語、音声言語、アングル、ズームなどのDVDの操作、3D フォニックの切り換えはできません。

録音を途中でやめる

■ を押す

ディスクの中の1曲だけを録音する

(DVDビデオを除く)

手順6の前に、録音したい曲を再生する

• 手順6で MD REC を押すと、曲の頭に戻り、その曲だけが録音されます。
• DVDビデオは1曲録音はできません。

ディスクの途中の曲から最後の曲まで録音する

■ オーディオCD/ビデオCD/SVCD/DVDビデオのとき(DVDビデオは一時停止中に)

手順6の前に、⊖前 次⊕ でトラック/チャプター(曲)番号を指定する

■ DVDオーディオ/MP3/WMAディスクのとき

手順6の前に、グループスキップ でグループ番号を指定し、⊖前 次⊕ でトラック(曲)番号を指定する

ディスクをプログラム録音する

手順1の前に、録音したい曲をプログラム(☞45ページ)する

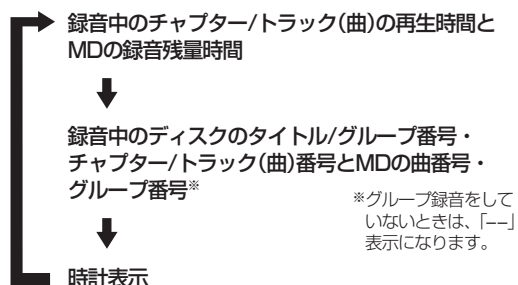
• 録音スピードは等速を選んでください(手順5)。「HIGH SPEED」を選んで手順6を行なうと「CANNOT REC ×1 REC ONLY」と表示され、録音されません。

録音中に表示窓の表示内容を切り換えるには

表示/文字 を押す。

• 押すごとに、表示が次のように切り換わります。

録音中のチャプター/トラック(曲)の再生時間とMDの録音残量時間
↓
録音中のディスクのタイトル/グループ番号・チャプター/トラック(曲)番号とMDの曲番号・グループ番号※
↓
時計表示

※グループ録音をしていないときは、「--」表示になります。

MDへの録音について(知っておいてほしいこと)

• 1枚のMDに異なるMDLPモードの曲を混在させて録音することもできます。
• 本機では、モノラル長時間録音はできません。

ご注意

• 録音中は本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING」(ライティング)(書き込み中)の表示中は注意してください。MDが再生できなくなるおそれがあります。
• LP2またはLP4で録音された曲は、MDLPに対応していない機器では再生できません。曲タイトルの始めに「LP: 」と表示され、無音状態になります。MDLPに対応した機器で再生すると「LP:」は表示されません。
LP: を押して、「LP:」をつけるかどうか設定することができます。(☞下記)

「LP :」の設定

LP: を押す。

• 押すごとに、表示が次のように切り換わります。

(LP:) ON :「LP:」をつける。
↕
(LP:) OFF :「LP:」をつけない。

CD-R/CD-RWまたはDVDオーディオの録音について

• CD-R、CD-RW、DVDオーディオの音声をMDに録音するとき、MD REC を押すと、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示され、デジタル録音ができないことがあります。
このようなときは録音スピードを等速にし、MD REC を4秒以上押して「ANALOG REC ?」が表示されている間にもう一度 MD REC を押し、アナログ録音してください。

(次ページへ続く)

リモコンのボタンの位置は48ページをご覧ください。

- MDには最大254曲(トラック)まで録音することができます。これ以上録音しようとすると「DISC FULL」が表示されます。
- すでに途中まで録音してあるMDのときは、本機が未録音部分を探して録音します。
  テープのように上書きで録音することはできません。
- 録音中は、本機の音量･音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- オーディオCDの音声はデジタル信号のまま録音されます。ラジオ、AUXの音声は、アナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
- ディスクを録音するときは、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。ただし、DVDビデオ/DVDオーディオの場合、正しくつかないことがあります。

ラジオやテープ、他の機器の音声の録音

お知らせ
- 録音レベルは自動で調節されます。
- 他の機器（AUX）の音声を録音するときは、サウンドシンクロ録音になります。サウンドシンクロ録音では、ソース（音源）の音声信号に反応して自動的に録音が始まります。また、ソース（音源）の音声が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音を終了したMDの空白時間は約2秒になります。

1 録音するソース（音源）を選ぶ

ソース（音源）	操　作
ラジオ放送	録音したい放送局を選ぶ（☞18ページ）。
テープ再生（TAPE）	再生するテープを入れ、TAPE を押してから ■ を押す。必要に応じて リバースモード を押してリバースモードを選ぶ。
他の機器の音声（AUX/AUX-DIGITAL）	AUX をくり返し押してAUXまたはAUX-DIGITALを選び、他の機器の再生を準備する（☞42ページ）。

2 録音用のMDを入れる

- MDLPモードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます（☞48、49ページ）。
- 誤消去防止つまみを閉じておきます（☞73ページ）。

3 本体の MD REC ◎ を約4秒間押し、トラックマーク（曲番号）のつけかたを表示させる

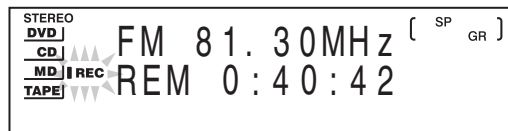
4 トラックマークのつけかたが表示されている間に ⊖前 ⏮ 次⊕ ⏭ を押し、トラックマークのつけかたを選ぶ

- 押すごとに、次のように切り換わります。

MANUAL MARK（マニュアル マーク）：録音中、SET を押したところにトラックマークがつきます（お買い上げ時の設定）。
↕
TIME MARK（タイム）：約5分間隔で自動的にトラックマークがつきます。
↕
AUTO MARK（オート）：無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。SET を押してトラックマークをつけることもできます。

5 本体の MD REC ◎ を押す

例：FM放送を録音中の表示

```
STEREO
DVD          FM  81.30MHz  [ SP  GR ]
CD
MD  REC      REM  0:40:42
TAPE
```

- 他の機器からの録音の場合は、「AUX→MD」と表示されるのを待って、接続した機器の再生を始めてください。音声が入力されると、録音が自動的に始まります。
  また、MD ⏯ を押して録音を始めることもできます。この場合はソース（音源）の音声が30秒以上途切れても自動的に停止しません。

録音をやめる

■ を押す

録音中に表示窓の表示内容を切り換えるには

表示/文字 を押す。
- 押すごとに、表示が次のように切り換わります。

録音中のソース（音源）名とMDの録音残量時間
↓
録音中のソース（音源）名とMDの曲番号・グループ番号※
↓
時計表示

※グループ録音をしていないときは、「--」表示になります。

テープに録音する よく使います！

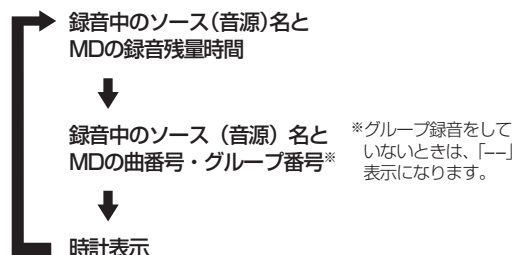
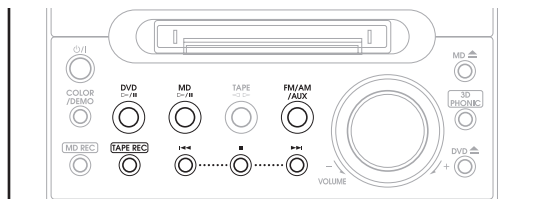
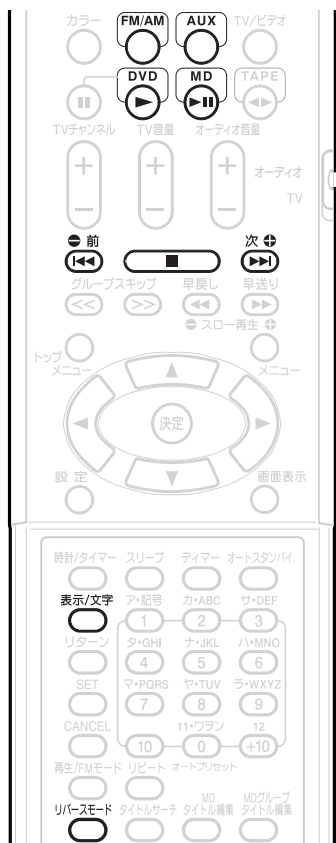
本体

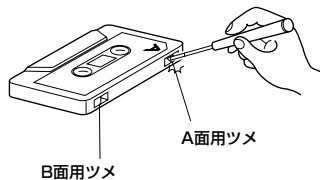
リモコン

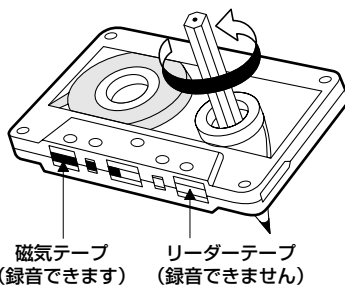
お知らせ

- 録音レベルは自動で調節されます。
- ソース(音源)がディスクまたはMDのときは曲間に約4秒のあき(ブランク)を作って録音されます。ブランクを作らずに録音することもできます。(☞52ページ)

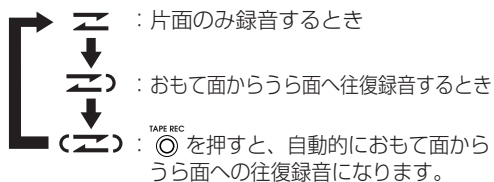
ご注意

- C-120やC-150などの長時間テープは使用しないでください。テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。
- 本機はハイポジション(TYPE Ⅱ)やメタルテープ(TYPE Ⅳ)に対応しておりませんので、使用しないでください。特性が異なるため、正しく録音されません。また、再生しても正しい音質にはなりません。

大切な録音を消さないために

- カセットテープには誤消去防止用のツメがついています。ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。
- 再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

1 録音用のテープを入れる

- リーダーテープの部分は巻き取っておきます。

2 リバースモード を押してリバースモードを選ぶ

- 押すごとに、次のように切り換わります。

: 片面のみ録音するとき
: おもて面からうら面へ往復録音するとき
: TAPE REC を押すと、自動的におもて面からうら面への往復録音になります。

- 録音中にリバースモードを切り換えることもできます。

3 録音するソース(音源)を選ぶ

- ディスクやMDは**停止状態**にしておきます。

ソース(音源)	操　作
ディスク	DVD を押してから ■ を押す。
MD	MD を押してから ■ を押す。
ラジオ放送	録音したい放送局を選ぶ(☞18ページ)。
他の機器の音声(AUX/AUX-DIGITAL)	AUX をくり返し押してAUXまたはAUX-DIGITALを選び、他の機器の再生を準備する(☞42ページ)。

(次ページへ続く)

録音する

リモコンのボタンの位置は
51ページをご覧ください。

4　本体の TAPE REC ◎ を押す

例：CDを録音中の表示

```
CD → TAPE
 1   0:00:37
```

- ディスクやMDは**まるごと録音されます。**
- 他の機器からの録音の場合は、接続した機器の再生を始めてください。
- 録音が終了すると、表示窓とディスクトレイのカラーパターン（☞17ページ）がMANUALカラーに変化してお知らせします。

録音を途中でやめる

■ を押す

ディスクやMDの中の1曲だけを録音する

（DVDビデオを除く）

手順4の前に、録音したい曲を再生する

- 手順4で TAPE REC ◎ を押すと、曲の頭に戻り、その曲だけが録音されます。

ディスクやMDの途中の曲から最後の曲まで録音する

（DVDビデオは一時停止中に）

■ オーディオCD/ビデオCD/SVCD/DVDビデオのとき

手順4の前に、⊖前 ⏮ 次⊕ ⏭ でトラック/チャプター（曲）番号を指定する

■ DVDオーディオ/MP3/WMAディスクのとき

手順4の前に、グループスキップ ≪ ≫ でグループ番号を指定し、⊖前 ⏮ 次⊕ ⏭ でトラック（曲）番号を指定する

ディスクやMDをプログラム録音する

手順4の前に、録音したい曲をプログラム（☞30、45ページ）する

曲間にあき（ブランク）を作らずに録音する

手順4の前に、ディスクまたはMDを再生し、一時停止してから ⊖前 ⏮ を押して最初の曲の先頭に戻す

録音済みのテープの音を消す

手順3で「他の機器の音声（AUX）」を選び、本体の TAPE REC ◎ を押す

- 他の機器を接続しているときは、接続した機器を再生しないでください。

録音中に表示窓の表示内容を切り換えるには

表示/文字 ◯ を押します。

- 押すごとに、表示が次のように切り換わります。

■ ディスク/MDを録音中

・ディスクまたはMD表示とTAPE表示
・録音中のディスクまたはMDの曲番号と再生経過時間

時計表示

■ ラジオ放送（FM/AM）を録音中

・FMまたはAM表示とTAPE表示
・録音中のラジオ放送の周波数

時計表示

■ 他の機器の音声（AUX）を録音中

AUX表示とTAPE表示

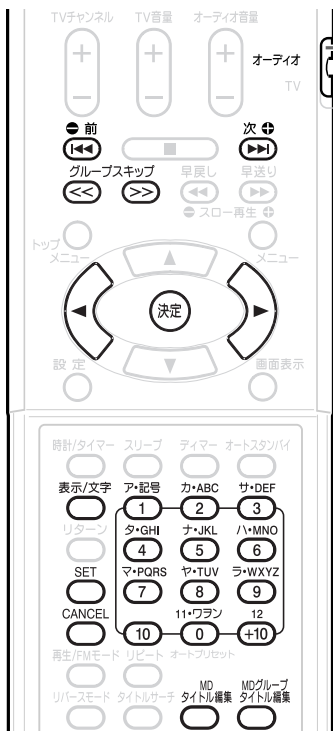
時計表示

お知らせ

- ディスクやMDを録音中、曲の途中でテープが反転したときは、再生中の曲がもう一度頭から、うら面に録音されます。ただし、おもて面への録音時間が12秒以下のときは、そのひとつ前のトラック（曲）の頭からうら面に録音されます。
- ライブ演奏の記録など、全体が1曲として録音されているMDをテープに往復録音するときは、あらかじめDIVIDE機能（☞55ページ）を使って、MDの録音内容をテープ片面の長さに合わせて分けてください。

編集の前に/タイトルをつける

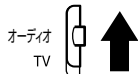
編集の前に知っておいてほしいこと

- 誤消去防止状態(☞73ページ)になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
- MDがプログラム再生中、ランダム再生中、グループ再生中は編集できません。

ご注意
- 数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

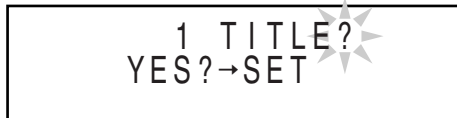
タイトルをつける／編集する

MDにディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。

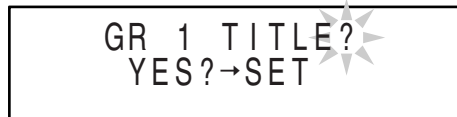
<タイトルをつけたい曲／グループを再生中に>

1 TV/オーディオ切換スイッチをオーディオ側にする

2 タイトル編集モードに切り換える

ディスク/曲タイトルを編集するとき
- MDタイトル編集を押し、タイトル編集表示に切り換えます。

```
 1 TITLE?
YES?→SET
```

- ディスクタイトルを編集するときは、前をくり返し押して「DISC TITLE?」を表示させせます。
また、停止中にMDタイトル編集を押しても「DISC TITLE?」を表示させることができます。
- 前 次で曲番号を選ぶこともできます。

グループタイトルを編集するとき
- MDグループタイトル編集を2回押し、グループタイトル編集表示に切り換えます。

```
GR 1 TITLE?
YES?→SET
```

- グループスキップ << >> でグループ番号を選ぶこともできます。

3 SETを押す

曲タイトル入力のときは曲番号が、グループタイトル入力のときは「GR」とグループ番号が表示されます。

入力文字種：
現在選ばれている文字種（例はカタカナ）が[ ]で囲われます。
[ア]: カタカナ
[A]: 英文字･記号
[a]: 英小文字･記号
[1]: 数字

4 数字ボタンでタイトルを入力する

- 入力のしかたは、「タイトル入力のしかた」(☞54ページ)をご覧ください。

5 決定を押す

- タイトルがつけられました。

終了したいとき	続けて、次のタイトルもつけたいとき
CANCELを押す	SETを押す 手順4へ

6 本体のMD⏏を押してMDを取り出す

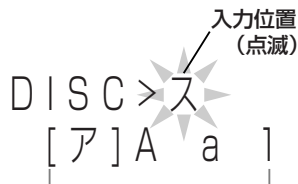
お知らせ

- MDに入力できる文字数について
  1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字･記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。
  カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース(空白)は文字と同じ量のデータを必要とします。
  ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭にLP: とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。
  LP：はつけない設定にすることもできます。(☞49ページ)

  例：• ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
  • ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

- 62文字以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。
- 録音中にも、タイトルをつけることができます。
  - CDの録音中(1曲録音は除く)は、16曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することができます(タイトルリザーブ機能)。
  - 録音が終了するまでに(決定)が押されなかったときは、入力した内容は取り消されます。
  - グループ録音中は、そのグループのタイトルを入力できます。

タイトル入力のしかた

例:「ス」と入力するには、
1) (表示/文字)をくり返し押して「ア」を[ ]で囲います。
2) (サ･DEF 3)をくり返し押して、「ス」を表示させます。

入力文字種：
現在選ばれている文字種（例はカタカナ）が[ ]で囲われます。
[ア]: カタカナ
[A]: 英文字･記号
[a]: 英小文字･記号
[1]: 数字

- 1つのボタンに複数の文字が割り当てられています。必要に応じてボタンをくり返し押してください。
- 入力できる文字は「タイトル入力に使える文字」(☞右記)をご覧ください。

文字の入力位置を移動するには

- (◀)、(▶)を押します。
- 「ウエ」「NO」のように、同じボタンを使う入力が連続するときは、1文字目を入力したあと、(▶)を押して文字の入力位置を右に移動させてから2文字目を入力します。

文字を削除するには

- 削除したい文字に入力位置を移動させ、(CANCEL)を押します。

「空白」を入力するには

- 「記号」からスペース(空白)を選びます(☞下記)。タイトルの末尾では(▶)を押して入力することもできます。

タイトル入力をやめるには

- (MD タイトル編集)または(MDグループ タイトル編集)を押します。それまで入力した内容は取り消されます。

タイトル入力に使える文字

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア･記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ･ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ･DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ･GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ･JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ･MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ･PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ･TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ･WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
11･ワヲン 0	ワヲン゛ー゜			0

*「記号」で入力できる内容

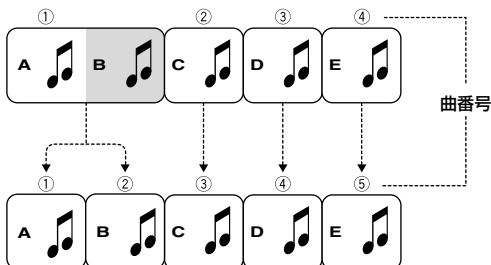
□スペース(空白)	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+
,	−	.	／	:	;	<	=	>	?	@	＿	`

・「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字以外には入力することができません。

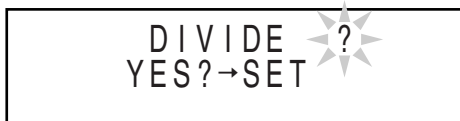
曲を編集する

リモコンのボタンの位置は
53ページをご覧ください。

曲を2つに分ける(DIVIDE)

例: A曲とB曲に分けると

<分けたい曲を再生中に>

1 MDタイトル編集 をくり返し押して「DIVIDE?」を選ぶ

```
DIVIDE ?
YES?→SET
```

2 SET を押す

- ⊖前 ⏮ 次⊕ ⏭または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞15ページ)

3 分けたいところでSET を押す

- 押したところから4秒間がくり返し再生されます。

POSITION(位置)の略です

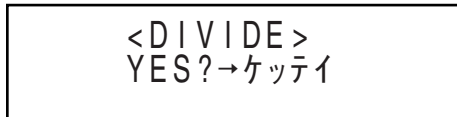
```
POSIT.    0
OK?→SET
```

- 現状の位置でよいときは手順5に進みます。
- 分ける位置を微調整したいときは手順4へ進みます。

4 ⊖前 ⏮ 次⊕ ⏭を押す

- ±128ポジション(SP:標準モードで約±8秒)の範囲で分けるところが調節できます。

5 SET を押す

```
<DIVIDE>
YES?→ケッテイ
```

6 決定を押す

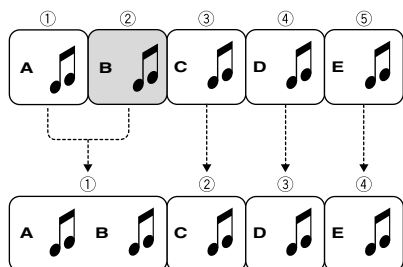
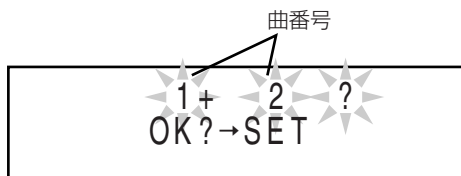
お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。MDタイトル編集 を押すと編集を中止します。
- 254曲録音してあるMDの曲は分けられません。手順3で SET を押すと「DISC FULL」と表示されます。
- 曲にタイトルがついているときは、分けた曲両方に同じタイトルがつきます。

MDを編集する

曲をつなげる(JOIN)

隣り合う2つの曲をつなげることができます。

例: A曲にB曲をつなげると

<つなげたい2つの曲のうち、後ろのほうの曲(上図の例では2曲目)を再生中に>

1 MD タイトル編集 をくり返し押して「JOIN?」を選ぶ

JOIN ?
YES?→SET

2 SET を押す

- 前 次 または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞15ページ)

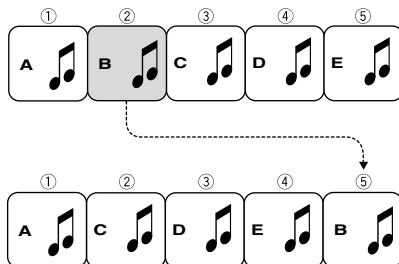
3 SET を押す

4 決定 を押す

お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。MD タイトル編集 を押すと編集を中止します。
- MDLPモード(SP/LP2/LP4)の異なる曲、デジタル録音した曲(CD)とアナログ録音した曲(ラジオ放送など)をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT JOIN」と表示されます。
- 曲にタイトルがついているときは、番号が小さい方の曲タイトルが残ります。

曲を移動する(MOVE)

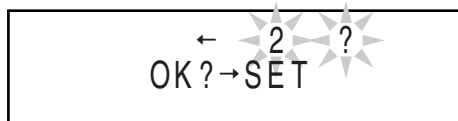
例: B曲を移動すると

<移動したい曲(上図の例では2曲目)を再生中に>

1 MD タイトル編集 をくり返し押して「MOVE?」を選ぶ

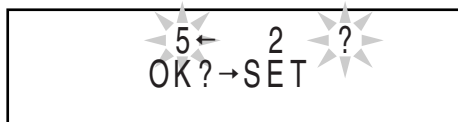
MOVE ?
YES?→SET

2 SET を押す

- 前 次 または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞15ページ)

3 SET を押す

4 前 次 を押して、移動先の曲番号を選ぶ

(上図の例では5曲目を選びます)

5← 2 ?
OK?→SET

- 数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞15ページ)
- 移動先の曲番号がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲番号がグループ登録されていない場合、グループ登録された曲を移動するとグループ登録から外れます。

5 SET を押す

6 決定 を押す

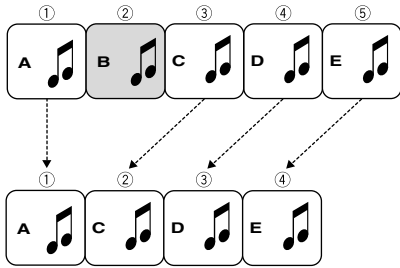
お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。MD タイトル編集 を押すと編集を中止します。

リモコンのボタンの位置は
53ページをご覧ください。

曲を削除する(ERASE) よく使います！

例：B曲を削除すると

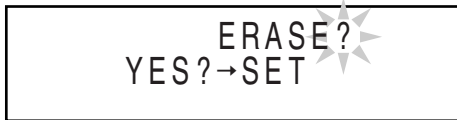
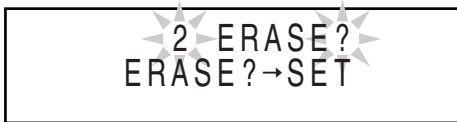
ご注意

- 一度削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

＜削除したい曲(上図の例では2曲目)を再生中に＞

1 MD タイトル編集 をくり返し押して「ERASE?」を選ぶ

ERASE?
YES?→SET

2 SET を押す

2 ERASE?
ERASE?→SET

- ⊖前 ⏮ ⏭ 次⊕ または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞15ページ)

3 SET を押す

- 削除される曲の曲番号の前に「✓」がつきます。
- 間違えたときは CANCEL を押して「✓」を消します。
- ⊖前 ⏮ ⏭ 次⊕、数字ボタン、SET を使って、削除する曲を15曲まで選ぶことができます。(「数字ボタンの使い方」☞15ページ)

4 決定 を押す

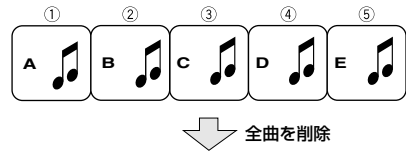
5 本当に削除してもよければ 決定 を押す

お知らせ

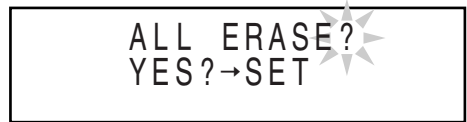
- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。
  MD タイトル編集 を押すと編集を中止します。

全曲を削除する(ALL ERASE) よく使います！

BLANK DISC

ご注意

- 一度削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

1 MD タイトル編集 をくり返し押して「ALL ERASE?」を選ぶ

ALL ERASE?
YES?→SET

2 SET を押す

3 本当に削除してもよければ 決定 を押す

お知らせ

- 操作の途中で MD タイトル編集 を押すと編集を中止します。

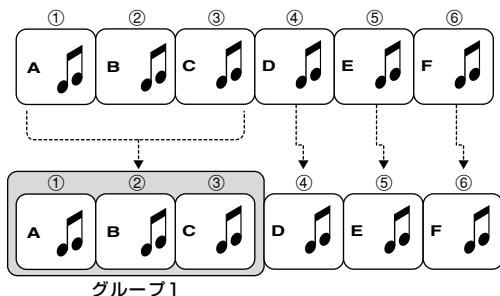
MDを編集する

グループ単位で編集する

曲(トラック)を最大99のグループに分けて管理することができます。

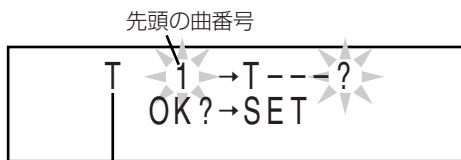
グループをつくる(FORM GR)

曲をまとめてグループにできます。グループにできるのは、どのグループにも登録されていない連続した曲です。

例: 曲A、B、Cをグループにまとめると

<グループの先頭にしたい曲(上図の例では1曲目)を再生中に>

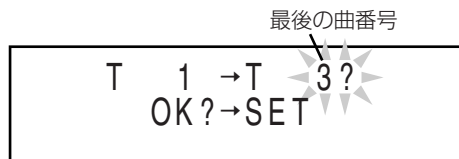
1 MDグループタイトル編集 をくり返し押して「FORM GR?」を選ぶ

- 「GR」は「GROUP」の略です。

2 SET を押す

- 前 次 または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞15ページ)

3 SET を押す

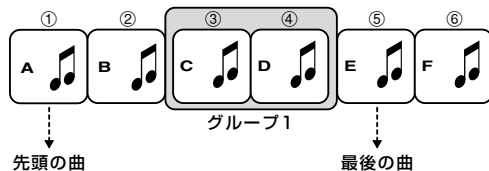
4 前 次 を押して、グループの最後にしたい曲を選ぶ

(左図の例では3曲目を選びます)

- 数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞15ページ)

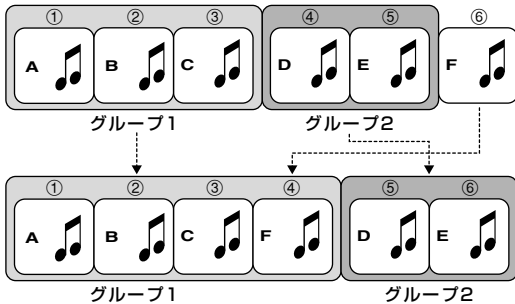
5 SET を押す

6 決定 を押す

お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。MDグループタイトル編集 を押すと編集を中止します。
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは「CANNOT FORM!」と表示され、次の手順に進めません。

グループに曲を追加する(ENTRY GR)

曲を選んで、指定したグループの最後の曲として追加できます。

例: グループ1に曲Fを追加すると

<グループに追加したい曲(上図の例では6曲目)を再生中に>

1 MDグループタイトル編集 をくり返し押して「ENTRY GR?」を選ぶ

2 SET を押す

- 前 次 または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞15ページ)

3 SET を押す

GROUP --?
OK?→SET

4 グループスキップ << >> を押して曲を追加したいグループを選ぶ

(上図の例ではグループ1を選びます)

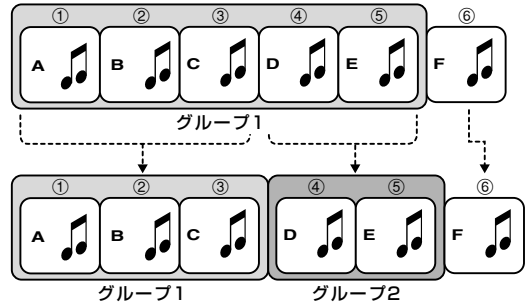
5 SET を押す

6 決定 を押す

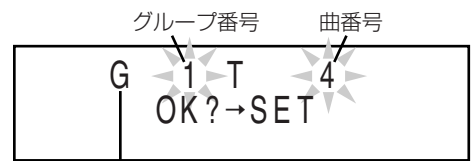
お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。
  MDグループタイトル編集 を押すと編集を中止します。
- すでにそのグループに属している曲を選んだときは、「CANNOT ENTRY!」と表示され、次の手順に進めません。

グループを2つに分ける(DIVIDE GR)

例: グループ1を2つに分けると

<後ろのグループの先頭にしたい曲(上図の例では4曲目)を再生中に>

1 MDグループタイトル編集 をくり返し押して「DIVIDE GR?」を選ぶ

2 SET を押す

- 前 次 または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞15ページ)
- グループスキップ << >> でグループ番号を選ぶこともできます。

3 SET を押す

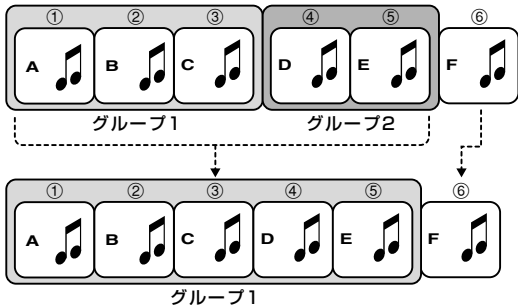
4 決定 を押す

お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。
  MDグループタイトル編集 を押すと編集を中止します。
- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。
- グループにタイトルがついているときは、分けたグループ両方に同じタイトルがつきます。

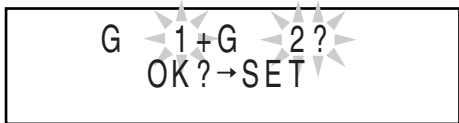
グループをつなげる(JOIN GR)

となりあう2つのグループを1つのグループにできます。

例：グループ1、2をつなげると

＜つなげたい2つのグループのうち、後ろのグループ(上図の例ではグループ2)の曲を再生中に＞

1 MDグループタイトル編集 をくり返し押して「JOIN GR?」を選ぶ

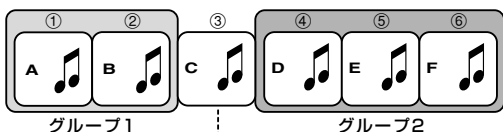
2 SET を押す

```
G 1+G 2?
OK?→SET
```

- 連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「--」と表示されます。
- グループスキップ << >> でグループ番号を選ぶこともできます。

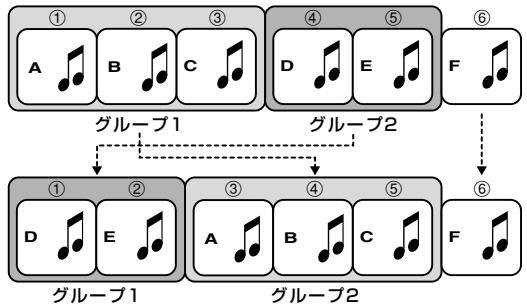
3 SET を押す

4 決定 を押す

お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。MDグループタイトル編集 を押すと編集を中止します。
- 2つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、つなげることはできません。「CANNOT JOIN」と表示され、前の手順に戻ります。

- グループにタイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。

グループを移動する(MOVE GR)

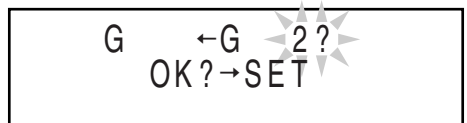
例：グループ2を移動すると

＜移動したいグループ(上図の例ではグループ2)の曲を再生中に＞

1 MDグループタイトル編集 をくり返し押して「MOVE GR?」を選ぶ

2 SET を押す

```
G ←G 2?
OK?→SET
```

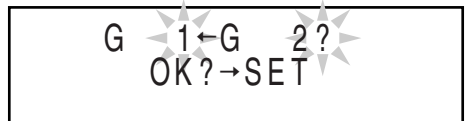
- グループスキップ << >> でグループ番号を選ぶこともできます。

3 SET を押す

4 グループスキップ << >> を押して移動先を選ぶ

（上図の例ではグループ1を選びます）

```
G 1←G 2?
OK?→SET
```

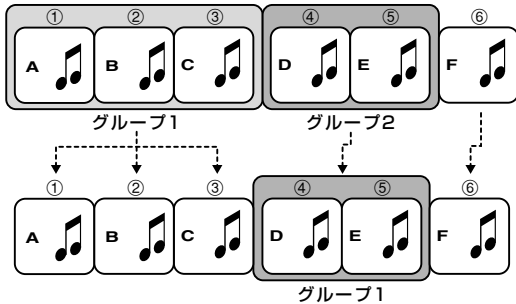
5 SET を押す

6 決定 を押す

お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。MDグループタイトル編集 を押すと編集を中止します。

グループを解除する(UNGROUP/UNGR ALL)

指定したグループを解除する(UNGROUP)

例：グループ1を解除すると

＜解除したいグループ(上図の例ではグループ1)の曲を再生中に＞

1 MDグループ タイトル編集 をくり返し押して「UNGROUP?」を選ぶ

2 SET を押す

例：グループ1を解除したいとき

```
GROUP    1?
YES?→SET
```

• グループスキップ ≪ ≫ でグループ番号を選ぶこともできます。

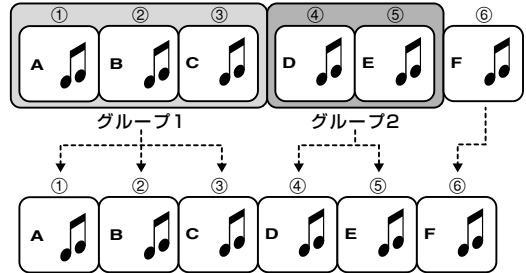
3 SET を押す

4 決定 を押す

お知らせ

• 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。MDグループ タイトル編集 を押すと編集を中止します。

全グループを解除する(UNGR ALL)

例：全グループを解除すると

1 MDグループ タイトル編集 をくり返し押して「UNGR ALL?」を選ぶ

• 「UNGR」は「UNGROUP」の略です。

2 SET を押す

3 決定 を押す

お知らせ

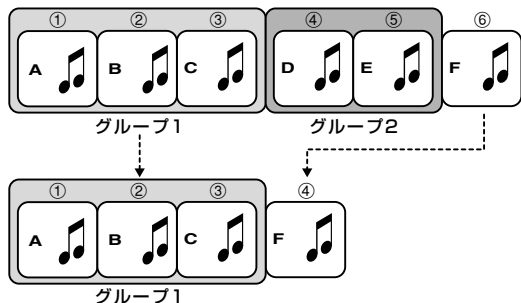
• 操作の途中で MDグループ タイトル編集 を押すと編集を中止します。

MDを編集する

グループを削除する(ERASE GR)

グループと、そのグループに含まれる曲を削除できます。

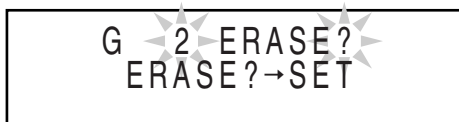
例：グループ2を削除すると

ご注意

- 一度削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

<削除したいグループ（上図の例ではグループ2）の曲を再生中に>

1 MDグループタイトル編集をくり返し押して「ERASE GR?」を選ぶ

2 SETを押す

G 2 ERASE?
ERASE?→SET

- グループスキップ <<　>>でグループ番号を選ぶこともできます。

3 SETを押す

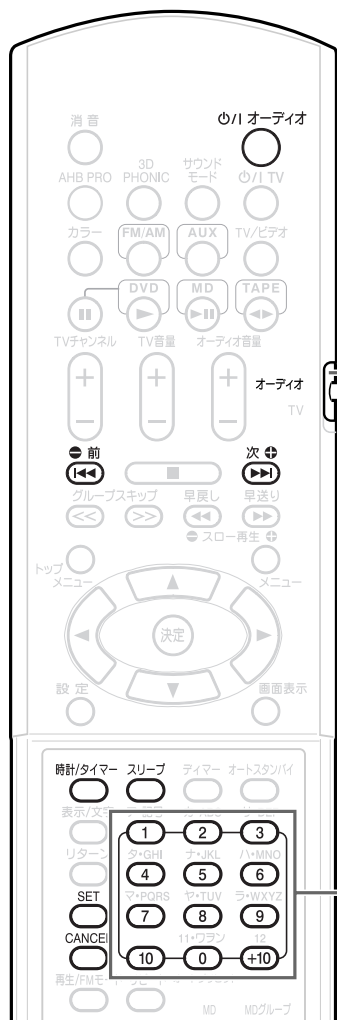
4 本当に削除してもよければ決定を押す

お知らせ

- 操作の途中でCANCELを押すと前の手順に戻れます。MDグループタイトル編集を押すと編集を中止します。

タイマーを使う

タイマー操作をする前に
時計を合わせておいてください。(☞15ページ)

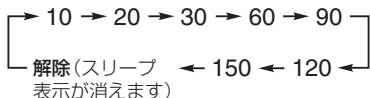
ご注意

- 数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。 オーディオ TV

おやすみタイマー

設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になります。

スリープ を押す

- 押すごとに、時間(単位:分)が次のように切り換わります。

→ 10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → 解除(スリープ表示が消えます) → (10に戻る)

例:おやすみタイマーを60分にしたときの表示

お知らせ

- おやすみタイマーを設定すると自動で表示窓が暗くなります。(オートディマー機能)
- 時間を合わせていないとき(「0:00」が点滅しているとき)、スリープを押すと「CLOCK ADJUST!」と表示されます。

設定した時間を変更するには

- スリープをくり返し押して時間を選び直します。

設定した時間(残り時間)を確認するには

- おやすみタイマーが設定された状態で、スリープを1回押します。

録音タイマー

ラジオ(FM、AM)または他の機器の音声をMDまたはテープにタイマー録音できます。
タイマーは、録音タイマーと再生タイマー(☞65ページ)を合わせて3つまで設定できます。

お知らせ

- 設定した内容は、あらためて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。

1 準備をする

ラジオ	タイマー録音したい放送局をプリセットしておく(☞18、19ページ)
他の機器	その機器の取扱説明書に従ってください。

MDに録音したいとき	MDを入れる(☞43ページ)
テープに録音したいとき	テープを入れる(☞41ページ)

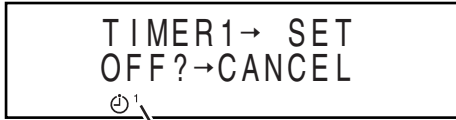
(次ページへ続く)

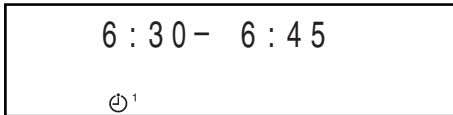
2 時計/タイマー をくり返し押して「TIMER1」、「TIMER2」、「TIMER3」のいずれかを選ぶ

例：TIMER 1のとき

```
TIMER1→ SET
OFF?→CANCEL
```

タイマー番号

3 SET を押す

4 前 次 および SET を押して開始時刻と終了時刻を設定する

例：午前6:30から6:45まで録音したいとき

```
6:30- 6:45
```

- 数字ボタンも使えます。（「数字ボタンの使い方」☞15ページ）
- 時刻の設定方法は「時計を合わせる」（☞15ページ）をご覧ください。

「時」の入力 ➡ SET ➡ 「分」の入力 ➡ SET

5 前 次 を押して「ONCE」または「EVERYDAY」を選ぶ

ONCE（ワンス）　：1回だけ動作します。
EVERYDAY（エブリデイ）：毎日動作します。

6 SET を押す

7 前 次 を押して「REC TIMER」を選ぶ

- 「REC」は「Recording（録音）」の略です。

8 SET を押す

9 前 次 を押して、録音したいソース（音源）と録音先の組み合わせを選ぶ

例：FM放送をMDに録音したいとき

```
FM    → MD
          REC
```

- 他の機器の音声を録音する場合、本機以外の機器をタイマーで動作させることはできません。
- 「AUX-D」は「AUX-DIGITAL」の略です。

■ FMまたはAM放送を録音するとき

- SET を押してから、前 次 または数字ボタンを押して録音したい放送局のプリセット番号を選びます。（「数字ボタンの使い方」☞15ページ）

10 SET を押す

- 録音先がMDのときは手順11に進みます。
- 録音先がTAPEのときは表示窓に設定内容が表示されます。確認してから手順13へ進みます。

11 前 次 を押してMDLPモード（☞48ページ）を選ぶ

12 SET を押す

- 表示窓に設定内容が表示されます。

13 ⏻/I オーディオ を押して電源を「切」にする

```
SEE YOU
          REC
```

- タイマー録音中の音量は0になり、スピーカーやヘッドホンから音声は出ません。
- タイマーは電源「切」のときのみ動作します。

お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。時計/タイマー を押すと設定を中止します。設定内容は記憶されません。
- MDのトラックマークのつけかたを変える場合は、録音タイマーを設定する前か設定を終えてからおこなってください。（☞50ページの手順3と4）

録音タイマーを解除するには

手順2で、解除したいタイマー番号を選び CANCEL を押します。
タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

同じ内容で再設定するには

手順2で、再設定したいタイマー番号を選び、設定が終了するまで SET をくり返し押します。そのあと電源を「切」にしてください。

お知らせ

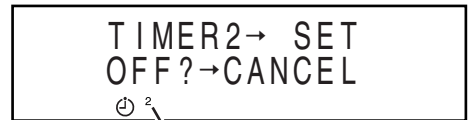
- 複数のタイマーを動作させるためには、先に動作するタイマーの終了時刻から2分以上空けて、後に動作するタイマーの開始時刻を設定してください。2分以上空けないで設定すると、後のタイマーは動作しません。
- 電源プラグを外したり、停電などで電源が切れたときは、タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

再生タイマー

1 再生したいソース(音源)を準備する

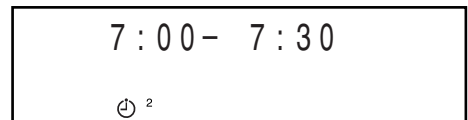
ディスク	ディスクを入れる(☞20ページ)
MD	MDを入れる(☞43ページ)
テープ	テープを入れる(☞41ページ)
ラジオ	タイマー再生したい放送局をプリセットしておく(☞18、19ページ)
他の機器	その機器の取扱説明書に従ってください。

2 時計/タイマー をくり返し押して「TIMER1」、「TIMER2」、「TIMER3」のいずれかを選ぶ

例:TIMER 2のとき

タイマー番号

3 SET を押す

4 前 次 および SET を押して開始時刻と終了時刻を設定する

例: 午前7:00から7:30まで再生したいとき

7:00- 7:30

- 数字ボタンも使えます。(「数字ボタンの使い方」☞15ページ)
- 時刻の設定方法は「時計を合わせる」(☞15ページ)をご覧ください。

「時」の入力 ➡ SET ➡ 「分」の入力 ➡ SET

5 前 次 を押して「ONCE」または「EVERYDAY」を選ぶ

ONCE　　　: 1回だけ動作します。
EVERYDAY: 毎日動作します。

6 SET を押す

7 前 次 を押して「PLAY TIMER」を選ぶ

(次ページへ続く)

便利な機能

8 SET を押す

9 ⊖前 ⏮ 次⊕ ⏭ を押して、再生するソース（音源）を選ぶ

例：AM放送を聞きたいとき

- 他の機器の音声を再生する場合、本機以外の機器をタイマーで動作させることはできません。
- ディスクやMDのプログラム再生、リピート再生、ランダム再生、グループ再生はできません。

■ FMまたはAM放送を聞きたいとき

- （「FM」または「AM」を選んで）SET を押してから、⊖前 ⏮ 次⊕ ⏭ または数字ボタンを押して聞きたい放送局のプリセット番号（☞19ページ）を選びます。（「数字ボタンの使い方」☞15ページ）

■ DVDビデオ、DVDオーディオを再生したいとき

- （「DVD/CD」を選んで）SET を2回押します。表示されているグループ番号（G）とトラック番号（T）に関係なく、ディスクの頭からの再生のみとなります。

■ オーディオCD、ビデオCD、SVCD、またはMDを再生したいとき

- （「DVD/CD」を選んで）SET を2回押してから、⊖前 ⏮ 次⊕ ⏭ または数字ボタンを押して再生を始める曲番号（T）を選びます（「数字ボタンの使い方」☞15ページ）。グループ番号（G）は無効となります。

■ MP3/WMAディスクの再生を始める曲を指定するとき

- （「DVD/CD」を選んで）SET を押してから、⊖前 ⏮ 次⊕ ⏭ または数字ボタンを押して再生するグループ番号（G）を選び、続けて SET を押してから、⊖前 ⏮ 次⊕ ⏭ または数字ボタンを押して再生する曲（トラック）番号（T）を選びます。（「数字ボタンの使い方」☞15ページ）

10 SET を押す

11 ⊖前 ⏮ 次⊕ ⏭ を押して、再生する音量を調節する

12 SET を押す

- 表示窓に設定内容が表示されます。

13 ⏻/I オーディオ を押して電源を「切」にする

SEE YOU

- タイマーは電源「切」のときのみ動作します。

お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。時計/タイマー を押すと設定を中止します。設定内容は記憶されません。
- 再生タイマーが動作を始めるとき、音量は除々に大きくなり設定した音量になります。（ウェイクアップボリューム機能）

再生タイマーを解除するには

手順2で、解除したいタイマー番号を選び CANCEL を押します。
タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

同じ内容で再設定するには

手順2で、再設定したいタイマー番号を選び、設定が終了するまで SET をくり返し押します。そのあと電源を「切」にしてください。

お知らせ

- 複数のタイマーを動作させるためには、先に動作するタイマーの終了時刻から2分以上空けて、後に動作するタイマーの開始時刻を設定してください。2分以上空けないで設定すると、後のタイマーは動作しません。
- 電源プラグを外したり、停電などで電源が切れたときは、タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。
- DVDビデオ／DVDオーディオやビデオCDの場合、メニュー画面が表示されると待機状態になるものがあります。このようなディスクを再生タイマーで使用すると、連続して音声や映像が再生されません。ご注意ください。

オートスタンバイ

ラジオ(FM/AM)以外のソース(音源)のとき無音状態が3分間続くと、自動的に電源が「切」になります。

<ソース(音源)がFM/AM以外のときに>

オートスタンバイ を押す

オートスタンバイの動作

ディスク、MDまたはテープを再生しているときや、録音しているとき:
再生または録音が終了すると、オートスタンバイが動作(「A.STANDBY」表示が点滅)し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「切」になります。
3分以内に再生または録音の操作をしたときは、再生または録音が終了してから再度オートスタンバイが動作します。
再生または録音以外の操作をしたときは、最後の操作が行われてから何の操作もせずに3分が経過すると、自動的に電源が「切」になります。

他の機器の音声を聞いているとき:
無音状態になるとオートスタンバイが動作(「A.STANDBY」表示が点滅)し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「切」になります。

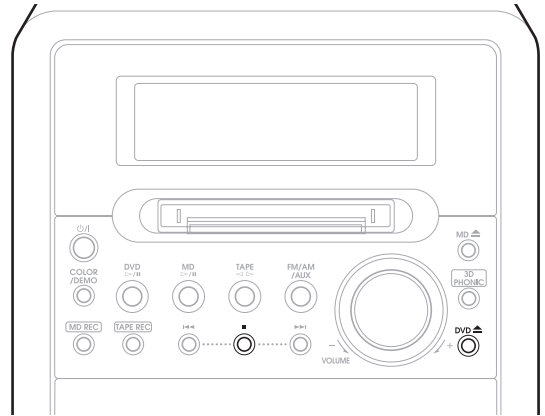
電源が「切」になる20秒前になると「A. STANDBY OFF」表示が点滅します。

解除するには

オートスタンバイ をもう一度押します。

A. STANDBY
CANCEL

お知らせ
- 音量(ボリューム)を「0」にした状態はオートスタンバイでいう「無音状態」ではありません。

チャイルドロック

ディスクやMDが取り出せないようにできます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

<電源「切」のとき>

本体の ■ を押しながら DVD⏏ を押す

LOCKED

DVD⏏ または MD⏏ を押しても、「LOCKED」と表示され、ディスクやMDを取り出せなくなります。
また、電源「切」のときに DVD⏏ または MD⏏ を押すと、「LOCKED」と表示され、電源は入りません。

解除するには

<電源「切」のとき>

もう一度、上記の操作をします。

UNLOCKED

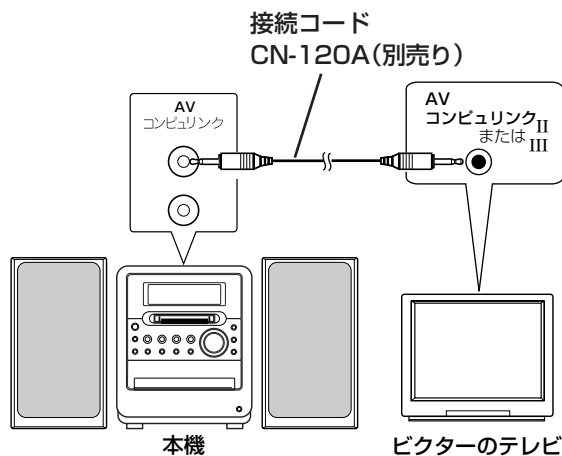
AVコンピュリンクの活用

テレビ、ビデオデッキ、DVDプレーヤー、AVアンプなどいくつかの機器をつないで、再生するための接続をしても、操作はそれぞれ別々に行わなければならないわずらわしさがあります。ビクター製の機器の操作に連動してほかのビクター製機器を動作させることによって、簡単な操作を実現したものがAVコンピュリンク機能です。

接続と設定をする

モノラルミニプラグ付きの接続コードを使用し、ビクター製の各機器のAVコンピュリンク端子どうしを接続します。機器によっては、AV COMPU LINK端子と英語で表記されていますが、同様の端子です。この機能を使うときは、モノラルミニプラグ付きの接続コード:CN-120Aをお買い求めのうえご使用ください。

・ＡＶコンピュリンクモードの設定（ＤＶＤ１～DVD3の切換え）は、「その他設定画面」（☞ 38ページ）で操作します。
・接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

テレビとのAVコンピュリンク接続

テレビの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定
ビデオ1のとき	DVD2
ビデオ2のとき	DVD3

• ビデオ3に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます。ただし、ビデオ3がDV／ムービー入力のときは、この端子にはAVコンピュリンクが働きません。

操作方法

本機を再生にするだけで音や映像を鑑賞することができます。テレビやAVアンプの入力を切換えたり、あらかじめ電源を「入」にする操作は必要ありません。

1　テレビの主電源スイッチを「入」にする

2　本機にディスクを入れる

3　本機の DVD ► を押す

次の動作が自動的に行われます。
• テレビの電源が「入」になります。
• テレビの入力切換が本機を接続している外部入力（ビデオ1、ビデオ2、またはビデオ3）になります。
なお、本機の電源を「切」にしてもテレビの電源は「切」にはなりません。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- テレビや他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の掃除

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

再生できるディスク

次のディスクが再生できます。

DVDビデオ	DVDオーディオ	ビデオCD/スーパービデオCD	オーディオCD
DVD VIDEO	DVD AUDIO	Video CD COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc SUPER VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO

次のディスクも再生できます。
- DVDビデオフォーマットで記録し、ファイナライズ処理されたDVD-R/RWディスク
- 次のフォーマットで記録されたCD-R/RWディスク
  - 音楽CD（ファイナライズ処理されたディスク）
  - ビデオCD
  - スーパービデオCD
  - MP3/WMAディスク・JPEGディスク（詳しくは「MP3/WMAディスク・JPEGディスクについて」をご覧ください）

ご注意
- ディスクの、傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。

次のディスクは音声のみ再生できます。
- MIX-MODE CD
- CD-G
- CD-EXTRA
- CD TEXT

本機のリージョン番号は「2」です。「2（2を含む）」または「ALL」と表示されたDVDビデオのディスクに限り再生できます。

例）

リージョン番号とは：
国や地域ごとに割り当てられた番号です。

CD-R/CD-RW ディスクについて

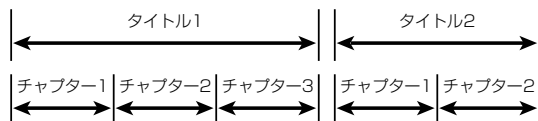
お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理されているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。
- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスク、およびオーディオデータ（MP3/WMA）や静止画データ（JPEG）ファイルが収録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。
  ただし、ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
- CDテキストの表示には対応しておりません。
- 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

再生できないディスク

次のディスクは再生できません。誤って再生するとスピーカーなどの機器を破損することがあります。
- VRフォーマットで記録されたDVD-R、DVD-RW
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- CD-ROM
- PHOTO CD
- SACD

- 破損したディスク、特殊な形状（直径12または8センチの円形以外）のディスクも再生できません。
- CD規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

DVDの構成

DVDビデオは、「タイトル（DVDオーディオの場合は「グループ」）」と呼ばれる大きな単位と、タイトルに含まれる「チャプター（DVDオーディオの場合は「トラック」）」と呼ばれる小さな単位で構成されています。

MP3/WMAディスク・JPEGディスクについて

再生できるディスクおよびファイル

- ISO9660フォーマットで記録されているディスク（パケットライト（UDFフォーマット）形式で記録されたディスクは不可）。
- マルチセッションで記録されたディスクも再生可能。
- 「.mp3」、「.wma」、「.jpg」または「.jpeg」の拡張子がついたファイル（大文字小文字が混在した拡張子も可）。

ディスクの構成

- 空のグループは認識されません。
- グループに入っていないトラック（ファイル）はグループ1のトラック（ファイル）として扱われます。
- 本機は、1枚のディスク内に最大1000トラック/ファイルを認識できます。また、1枚のディスク内に最大99のグループ、各グループ内に最大150のトラック/ファイルを認識できます。これらを超えるものは認識できず、再生できません。またディスク内にMP3/WMA/JPEG以外のファイルが含まれるとき、認識できるトラック/ファイル数が上記の数に満たないことがあります。

- ディスクの記録状態や特性により再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ディスクに記録されているグループやトラック(ファイル)の数によって、読み取り時間が異なります。
- MP3/WMA/JPEGファイルのファイル名に半角英数字とカタカナ以外の文字が使われていると、テレビ画面にトラック/ファイル名が正しく表示されません。
- FILEコントロール画面に表示されるトラック/グループの順序、およびファイル/グループの順序は、パソコンの画面に表示されるファイル/フォルダの順序と異なることがあります。
- 市販のMP3/WMAディスクを再生した場合、ディスクに記載されている順番とは異なって再生されることがあります。
- 静止画データの入ったMP3ファイルは再生に時間がかかることがあります。再生が始まるまで経過時間は表示されません。また、再生が始まっても正確な経過時間が表示されないことがあります。
- MP3ファイルは、サンプリング周波数44.1kHz、転送レート128kbpsで作成されたディスクを推奨します。
- MP3iおよびMP3PROには対応していません。
- 本機ではベースライン方式のJPEGファイルが再生できます。モノクロのJPEGファイルは再生できません。
- 本機ではDCF(Design rule for Camera File system)規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータが表示できます。(デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF規格にあてはまらないデータとなり、画像が表示されないことがあります)
- パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
- MOTION JPEGなどの動画やJPEG以外の静止画(TIFFなど)および音声付き画像は再生できません。
- JPEGファイルの解像度は「640ピクセル×480ピクセル」をお勧めします。それ以上の解像度では表示に時間がかかることがあります。また、「8192ピクセル×7680ピクセル」を超える画像は表示できません。
- DVD-R/DVD-RWディスクに記録されたファイルは再生できません。

マルチチャンネル音声について

本機はマルチチャンネル音声をダウンミックスして本機の2つのスピーカーまたはヘッドホンで再生します。

テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。NTSC以外のテレビ方式(PAL等)用のDVD/ビデオCDも、NTSC方式に変換して再生できます。(ただし、ディスクによっては映像がコマ送りになり、画面の縦横の比率が変わるなど、正しく再生されないことがあります)

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープやDATとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

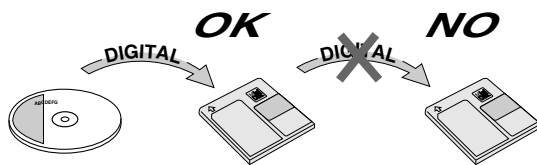
症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。(録音可能な最大トラック数は254曲まで)
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。分けられて8秒以下(SP:標準モード時)の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。 また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音(MDLP)モードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも12秒間(SP:標準モード時)の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

MDは、ディスクのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル･コピー･マネージメント･システム)といいます。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

SCMS (Serial Copy Management System)

シリアル･コピー･マネージメント･システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やディスク、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03－5353－0336(代)

ご注意

- この規定により、一度デジタル録音されたMDからは、他の機器へデジタル録音することはできません。
- デジタル録音したCD-R/CD-RWディスクは、MDにデジタル録音することができません。(☞49ページ「CD-R/CD-RWまたはDVDオーディオの録音について」)

倍速録音に関して(HCMS)

録音用MD(ミニディスク)は等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。

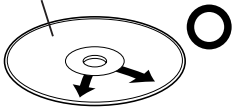
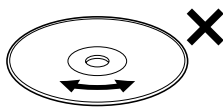
本機では、ディスクから一度倍速録音(等速を超える録音)した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の二度目の倍速録音はできません。

例えば、CDの1曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに倍速で録音することはできません。また、CDから倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で101曲以上録音することはできません。100曲までの録音ができます。

ディスク、MD、テープの取り扱いについて

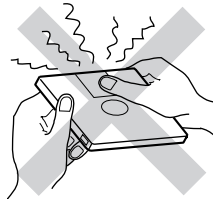
ディスクの取り扱いかた

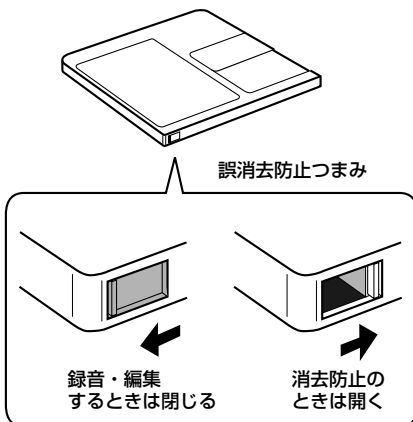
- ディスクにテープやシールなどを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- ディスクは曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプディスク(特殊形状のCDなど)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

ディスクのお手入れ

内側から外側へ柔らかい布でふく

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

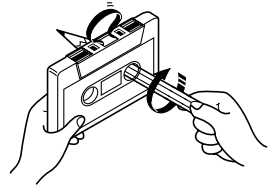
MDの取り扱いかた

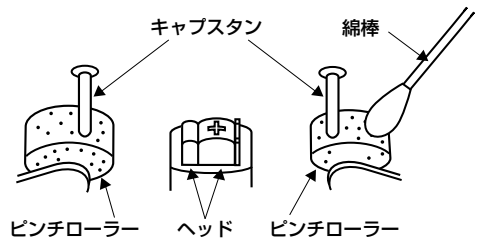
- シャッターは開けないで
  無理に開けようとするとディスクがこわれます。

大切な録音を消さないために

- MDには、大切な録音を間違って消さないための誤消去防止つまみがついています。

お知らせ

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に貼らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。

カセットテープの取り扱いかた

- テープにたるみがありますと、機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。

テープデッキのヘッド部の清掃

- ヘッド部の清掃
  音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。

市販のクリーニングキット(綿棒とクリーニング液)を使うと便利です。

本体表面のお手入れ

- キャビネット表面の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンでふかないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

MD/ディスクのメッセージ

MDのメッセージ	意味	処置
CANNOT ENTRY!	曲を同じグループに登録しようとした。	正しい曲を選んでください(→59ページ)。
CANNOT FORM!	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないように曲を選んでください(→58ページ)。
CANNOT GROUP!	グループに関する情報量の制限を超えている。 (グループに関する情報は、タイトルの領域に記録されます)	それ以上のグループは作れません。 (不要なディスク名や曲名は消してください)
CANNOT JOIN	MDLPモードが異なる曲、または8秒以下(SP:標準モード時)の短い曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
CANNOT LISTEN	5倍速録音中に音量を調節しようとした。	5倍速録音中は、CDの音は聞けません。
CANNOT REC	ビデオCD／スーパービデオCDでPBC再生中に1トラック(曲)録音をしようとした。	PBCを「切」にして(→22ページ)再生し、録音してください。
CANNOT TITLE	MDに合計1792文字を超えて入力しようとした。	それ以上のタイトルは入力できません。
READ ERROR	MDの情報が読み取れない。	電源を入れ直してください。それでも同じメッセージが表示されるときはMDの異常(損傷)が考えられます。MDを交換してください。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください(→72ページ)。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態のまま編集または録音をしようとした。	MDの誤消去防止つまみを閉じてください(→73ページ)。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	◉ (停止)を押していったん停止してから、MD⏏ (取り出し)を押してMDを取り出し、もう一度操作し直してください。
GROUP FULL	100以上のグループを作ろうとした。	グループは99まで作ることができます。
GROUP TRACK	グループ登録されている曲を選んで新しいグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでください(→58ページ)。
LOAD ERROR	MDの入れ方がおかしい。	MDを正しく入れてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
NON-AUDIO CANNOT COPY	接続したデジタル機器(BSデジタルチューナーなど)のリニアPCM以外のデジタル音声(AAC音声など)をMDに録音しようとした。	接続したデジタル機器のデジタル出力の設定をリニアPCMにしてください(詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください)。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音·編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW(デジタルオーディオ)のコピーを作ろうとした。	等速でアナログ録音してください(→49ページ)。
TRACK PROTECTED	Net MDのフォーマットで音楽データが記録された(チェックアウト)曲をDIVIDE、JOINまたは消去をしようとした。	Net MDに対応した機器で操作してください。
	本機以外の機器によってその曲が誤消去防止になっている。	録音した機器で編集操作してください。
HCMS CANNOT COPY	5倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再び倍速録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上待つか、または等速録音にしてください。
BLANK DISC	空のディスクです。	–

ディスクのメッセージ	意味	処置
CANNOT PLAY	再生できないディスクまたは傷の多いディスクを再生しようとした。	ディスクを交換してください。
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
NO AUDIO	不正コピーディスクの可能性があります。(音が出ません)	ディスクをお買い上げの販売店で確認してください。
LR ONLY	マルチチャンネル音声でダウンミックスが禁止されているトラックを再生している。	正常な動作です。

故障かな？と思う前に

修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
映像/音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」のページを参照し、正しく接続し直す。	10
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	7
時刻表示が点滅している。	停電があった。または電源コードを抜いた。	時計を合わせ直す。	15
ディスク/MDの再生が始まらない。	ディスクが裏返しに入っている。	文字のある面を上にして入れる。	20
	レンズが結露している。	電源を「入」にしたまま1 ～2 時間待ち、乾いてから使う。	69
特定の箇所が正常に再生できない。	ディスクに傷や汚れがある。	ディスクをクリーニングするか、または交換する。	73
	MDにエラーが発生した。	MDを録音し直す。	48
テープの再生音が小さい。	ヘッドやキャプスタンが汚れている。	ヘッドやキャプスタンを清掃する。	73
MDまたはテープの録音ができない。	誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	73
		テープの誤消去防止用ツメの穴をセロハンテープなどでふさぐ。	51
放送が受信できない。	アンテナが接続されていない。	アンテナを接続する。	10
ブーンという雑音がでる。	テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離す。	69
タイマーが働かない。	時計を合わせていない。	時計を合わせる。	15
	電源が「入」になっている。	タイマー設定後、電源を「切」にする。	64、66
リモコンが操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池（単3形）と交換する。	8
リモコンの数字ボタンで本機を操作できない。	リモコンのオーディオ/TV切換スイッチがTV側になっている。	オーディオ/TV切換スイッチをオーディオ側にする。	15

●上記の処置をしても正しく動作しないときは…
本機はマイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、雷や静電気等による動作の異常が発生したときやボタン類を押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

お願い

● 本機の故障または不測の事態により、録音･再生およびディスク/MDの再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」(77ページ)をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　　出張修理

75ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	マイクロコンポーネントMDシステム
型名	UX-QD7-B、UX-QD7-S
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
	北海道		
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
	東北		
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	関東・甲信越		
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 246-2588	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 3874-5231	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044) 975-1879	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463) 36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下下条2-1366-1
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
	東海		
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
	北陸		
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
	近畿		
滋賀	滋賀 S.C.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.C.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
	中国		
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	山陰ビクター販売（株） 松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株） 鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
	四国		
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
	九州・沖縄		
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0704

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様 —本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。—

■ MD/DVDレシーバー
（CA-UXQD7）

アンプ部

実用最大出力	20W+20W (JEITA/4Ω)
入力端子	
＜アナログ＞	AUX×1系統、 500mV/47kΩ:LEVEL1 250mV/47kΩ:LEVEL2
＜デジタル＞	デジタル光入力×1 −23dBm〜−15dBm (光角型ジャック) (サンプリング周波数32kHz/44.1kHz/48kHzに対応)
出力端子	
＜アナログ＞	スピーカー×1系統、20W/4Ω 適合インピーダンス 4Ω〜16Ω ヘッドホン(×1)、25mW/32Ω 適合インピーダンス 16Ω〜1kΩ
＜デジタル＞	DVD/CDデジタル光出力×1 −23dBm〜−15dBm (光角型ジャック)
＜その他＞	AV コンピュリンク×２（φ 3.5）
ビデオ出力部	映像出力×１ 1.0V(p-p)/75Ω、同期負 S1/S2映像出力×1 Y出力: 1.0V(p-p)/75Ω、同期負 C出力: 0.286V(p-p)/75Ω D2映像出力×1 Y出力: 1.0V(p-p)/75Ω CB/CR出力: 0.7V(p-p)/75Ω
映像信号方式	JEITA 標準、NTSC カラーテレビジョン方式（インターレース方式/プログレッシブ方式選択可）

チューナー部

受信周波数	FM : 76.00MHz〜108.00MHz (0.05MHz ステップ) AM : 531kHz〜1,629kHz (9kHz ステップ)
アンテナ	FM : 75Ω不平衡型 AM : ループアンテナ

タイマー部

タイマー形式	3プログラム動作（ONCE/EVERYDAY切換可能）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150分 (オートディマー機能)
時刻表示	24時間表示

DVDプレーヤー部

再生可能ディスク	DVD ビデオ、DVD オーディオ、オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオ CD、CD-R/CD-RW（オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCD、MP3/WMA/JPEG フォーマット)、DVD-R（ビデオフォーマット)、DVD-RW（ビデオフォーマット）

MDレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
録音/再生時間 (MD80使用)	録音モード(MDLP)SP : 80分 録音モード(MDLP)LP2 : 160分 録音モード(MDLP)LP4 : 320分
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
チャンネル数	2チャンネル·ステレオ

カセットデッキ部

形式	コンパクトカセットステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	交流消去
ヘッド	消去(2ギャップフェライト) 録音·再生(ハードパーマロイ) }コンビネーション×1
早巻き時間	約145秒(C-60)

共通部

電源電圧	AC 100V(50Hz/60Hz共用)
消費電力	電源「入」時 65W 電源「待機」時 0.9W
最大外形寸法	幅 165mm × 高さ200mm × 奥行355mm
質量	約 5.1kg

■ スピーカー：1本当たり
（SP-UXQD7）

形式	3ウェイバスレフ型、防磁形(JEITA)
使用スピーカー	低音用 : 11cm ×１ 中高音用 : 4cm ×１ 高音用 : 1.5cm ×１
最大入力	20W(JIS)
定格インピーダンス	4Ω
再生周波数帯域	55Hz〜40kHz
出力音圧レベル	85dB/W·m
最大外形寸法	幅 140mm × 高さ 231mm × 奥行 204.5mm
質量	約 2.2kg(１本)

■ マイクロコンポーネントMDシステム
（UX-QD7）

総　合

最大外形寸法	幅 445mm × 高さ 231mm × 奥行355mm
質量	約 9.5kg

- JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

索 引

英数字

3D フォニック 27
A-Bリピート 34
AHB PRO 16
ALL ERASE 57
AM ループアンテナ 10
AVコンピュリンク 68
B.S.P. 29
BASS(低音) 16
BLANK DISC 74
CD-R/RW 70
DISC FULL 74
DISC PROTECTED 74
DIVIDE 55
DIVIDE GR 59
DTS 38
DVDレベル 28
D端子 13
EDITING 53
ENTRY GR 59
ERASE 57
ERASE GR 62
FM簡易型アンテナ 10
FORM GR 58
GR 58
HCMS .... 72、74
JOIN 56
JOIN GR 60
JPEG .... 35、70
LOCKED 67
LP2 48
LP4 48
MDLP 48
MDに入力できる文字数 54
MDに録音する 48
MDを再生する 43
MEMORY FULL 45
MONO 18
MOVE 56
MOVE GR 60
MP3 .... 35、70
NO OPERATE 16
NTSC 71
PBC 22
SCMS .... 72、74
SP 48
STEREO 18
SVCD 21
TREBLE(高音) 16
TVタイプ 37
UNGR ALL 61
UNGROUP 61
VFP 27
WMA .... 35、70
WRITING 53

ア

アングル 26
インターレースモード 28
インピーダンス 11
映像設定画面 37
オートスタンバイ機能 67
オートプリセット機能 18
往復再生 41
往復録音 51
おやすみタイマー 63
オンスクリーンガイド 21
音声設定画面 38
音量を調節する 16

カ

画質を調節する 27
画像を1コマずつ送る 23
画面表示言語 37
カラーパターン 17
カントリーコード .... 38、39
グループ(フォルダ) 70
グループ機能 58
グループスキップ 44
グループ録音 48
言語設定画面 37

サ

サウンドモード 16
消音 16
視聴制限 38
字幕を切り換える 26
ズーム 26
ステータスバー 33
スライドショー再生 36
スローモーション再生 23
接続 10
その他設定画面 38

タ

タイトルサーチ機能 46
タイトルリザーブ機能 54
ダイナミックレンジコントロール 38
タイマー 63
ダウンミックス 38
チャイルドロック 67
チャプター .... 20、70
ちょっと見バック 22
ディスクを再生する 20
ディマー機能 17
デモ表示 14
テレビを操作する(リモコン) 9
トラックマーク 50

ナ

入力レベル 42

ハ

パンスキャン 37
ファイル 70
付属品 6
プログラム再生 .... 30、45
プログレッシブモード 28
ボーナスグループ 29

マ

マルチチャンネル音声 71
メーカーコード 9
メニュー 24
メニューバー 33

ラ

ラジオを聞く 18
ランダム再生 .... 31、45
リージョン番号 70
リジューム再生 22
レターボックス 37
リバースモード .... 41、51
リピート再生 .... 32、46
録音する .... 48、51

ワ

ワイドテレビ 37

その他

(アングルマーク) 21
(音声マーク) 21
(字幕マーク) 21
(禁止マーク) 21

別売りのオプション品

• RCA ピンコード	：CN-180G (1 m)、CN-510E (1 m)
• 光デジタルケーブル	：XN-110SA
• S ビデオコード	：VC-S110E
• コンポーネントビデオコード	：VX-DS110
• AV コンピュリンク用コード	：CN-120A
• DVD レンズクリーナー	：CL-DVDLW CL-DVDLA
• MD レンズクリーナー	：CL-MLA
• アンテナコネクター	：VZ-71A（300 Ω /75 Ω対応）
• FM フィーダーアンテナ	：CN-511A（300 Ω対応） （アンテナコネクター：VZ-71A と一緒に使います。）

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
77ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120－2828－17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は ☎ (03)5684-9311 FAX(03)5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7　ビクター本郷ビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー

〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0704SKMMODJEM